

地方独立行政法人神奈川県立病院機構
平成22年度 業務実績評価書
参考資料 小項目評価

平成23年 8 月

神奈川県地方独立行政法人評価委員会

目

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1 質の高い医療の提供

(1) 医療機能の充実（小項目1～22）

ア 足柄上病院（小項目1～5）	1
イ こども医療センター（小項目6～8）	6
ウ 精神医療センター 芹香病院（小項目9～11）	9
精神医療センター せりがや病院（小項目12～15）	12
エ がんセンター（小項目16～19）	16
オ 循環器呼吸器病センター（小項目20～22）	20

(2) 医療機器・施設整備の推進（小項目23～26）

ア 医療機器整備の推進（小項目23）	23
イ 施設整備の推進	
(ア) がんセンター総合整備の推進（小項目24）	24
(イ) 精神医療センター総合整備の推進（小項目25）	26
(ウ) その他の施設整備の推進（小項目26）	27

(3) 地域医療連携の強化（小項目27）

(4) 臨床研究の推進（小項目28～31）

ア 臨床研究（小項目28～29）	30
イ 治験（小項目30～31）	32

2 安全で安心な医療の提供（小項目32～36）

(1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備（小項目32）	35
(2) 医療安全対策の推進（小項目33）	36
(3) 感染症対策の強化（小項目34）	38
(4) 災害対策の推進（小項目35）	40
(5) 情報セキュリティの強化（小項目36）	41

次

3 患者の視点に立った病院運営（小項目37～44）

(1) 患者にとって分かりやすい医療の提供（小項目37～40）	42
(2) 県民への病院・医療情報提供の充実（小項目41）	48
(3) 患者の利便性の向上（小項目42・43）	49
(4) ボランティア・NPOとの協働（小項目44）	51

4 医療人材の確保と育成（小項目45～48）

(1) 医師の確保と育成（小項目45）	52
(2) 看護師の確保と育成（小項目46）	53
(3) コメディカル職員等の確保と研修の充実（小項目47）	54
(4) 勤務環境の改善（小項目48）	56

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

1 業務運営体制の確立（小項目49）

2 効率的・効果的な業務運営と経営改善

(1) 効率的・効果的な業務運営（小項目50～55）

ア 人事・予算の弾力的運用（小項目50・51）	58
イ 事務職員の専門性の向上（小項目52）	60
ウ 職員の経営参画意識の向上（小項目53）	61
エ ITの活用による効率的な医療提供の推進（小項目54）	62
オ 効率的な事務執行の推進（小項目55）	63

(2) 経営改善の取組（小項目56～60）

ア 収益の確保（小項目56～58）	64
イ 費用の削減（小項目59～60）	67

第7 その他業務運営に関する重要事項（小項目62）

人事に関する事項 (1)適切な職員配置 (2)的確な人事管理	69
--------------------------------	----

第3 財務内容の改善に関する事項（小項目61）

	70
--	----

小項目 1 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標	ア 足柄上病院 地域の中核的医療機関として、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供するとともに、救急医療・産科医療の充実に努めること。
------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>ア 中期目標期間内において足柄上病院が目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科において、一般病院として質の高い医療を提供するとともに、足柄上地域において高齢化が進んでいる状況に対応するために、高齢者に対する総合的な医療を推進する。 ・地域の中核的医療機関として、救急医療や産科医療を充実する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活習慣病の予防」、「がんをはじめとする3大成人病の治療」、「生活機能障害に対するケア」などの「高齢者総合医療」を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中核的医療機関として期待される、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般病院としての当院の診療の柱である総合診療科の医師を、救急受入れの充実等のために増員し、患者の受入れ体制を強化するとともに、地域で不足している耳鼻咽喉科の（足柄上地域の1市5町で3医院）を非常勤医師を1人から4人に増員することによって、一般外来として開設するなど、地域の中核的医療機関として求められている診療体制の充実を図った。 ・足柄上地域や御殿場、秦野市、伊勢原市等に所在する病院、診療所等の医療機関473所と連携し、当院の高度医療機器（CT、MRI、RI等）を共同利用に供しており、地域連携による医療の充実を図った。 ・地域との連携強化のため、風邪による発熱などで保育園を休園せざるを得ない軽症病児を預かることを目的とした、小児科の短期入院制度を新設し、病児の日帰り入院の受入れを実施することにより、地域の働く父母の子育て支援を推進した。 	<p>実績に対する評価</p> <p>総合診療科の総患者数は、前年度比110%、5,651人の増、耳鼻咽喉科の外来患者数は、1,659人の増と、地域需要に応える結果となった。</p> <p>高度医療機器の共同利用の実績は、H21年度が514件、H22年度は377件となっている。</p> <p>小児日帰り入院は、延96人の利用があり、地域の子育て支援の一助となった。</p>	△	△	総合診療科を充実し実績を上げていることは評価できる。
			<p>課題</p> <p>高齢化の進んでいる当地域の特性に合わせ、リハビリテーション機能の充実・強化が求められていることから、今後リハビリテーション科一般外来の設置について検討する必要がある。</p>			

小項目2 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

ア 足柄上病院
地域の中核的医療機関として、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供するとともに、救急医療・産科医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																	
			自己点数	評価点数	コメント																	
<p>ア 中期目標期間内において足柄上病院が目指す医療</p> <p>・内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科において、一般病院として質の高い医療を提供するとともに、足柄上地域において高齢化が進んでいる状況に対応するために、高齢者に対する総合的な医療を推進する。</p> <p>・地域の中核的医療機関として、救急医療や産科医療を充実する。</p> <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組</p> <p>・「生活習慣病の予防」、「がんをはじめとする3大成人病の治療」、「生活機能障害に対するケア」などの「高齢者総合医療」を実施する。</p>	<p>・高齢者病棟（スマイル）を活用した高齢者への専門的・個別的医療や看護の提供等により「高齢者総合医療」を推進する。</p> <table border="1"> <caption>[スマイル患者数の実績と目標値]</caption> <thead> <tr> <th>平成20年度実績</th> <th>平成22年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延1,209件</td> <td>延1,500件</td> </tr> </tbody> </table> <p>Smile(微笑) Multidisciplinary(専門的多職種) Integrate(統合) Listen(傾聴) Empathy(共感)</p>	平成20年度実績	平成22年度目標値	延1,209件	延1,500件	<p>高齢者病棟(スマイル)は、医師・看護師・理学療法士、管理栄養士、社会福祉士などと家族が協力し、疾病によって出現する個々の患者の生活機能障害を、チームとして包括的に評価し、個々にとって最適な急性期医療を提供することを目的としている。</p> <p>[スマイルによる高齢者総合医療の実践]</p> <p>入院時に高齢者機能評価シートを用いて、対象患者の入院前の生活状況や身体的機能の評価を行っており、カンファレンスを通じて、機能の維持向上のための援助の方向性をチーム内で共有し、退院時までのゴール設定を行っている。</p> <p>また、入院時から地域医療連携室が介入し、地域や家族と連絡を取り、共同指導や家族指導などを通じて、退院支援を行っている。</p> <p>さらに、予防医学を積極的に導入し、せん妄予防のためベッド横に畳をひき、自宅と同様の安心感のある環境を提供したり、誤嚥性肺炎の予防のため、必要に応じて嚥下内視鏡検査により嚥下状況を確認して、食事の選択を行うなどしている。</p> <table border="1"> <caption>[スマイル患者数の実績]</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実患者数</td> <td>128人</td> <td>117人</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>26.0日</td> <td>21.6日</td> </tr> <tr> <td>延べ患者数</td> <td>延3,314件</td> <td>延2,533件</td> </tr> </tbody> </table> <p>[高齢者総合医療を目指すその他の取組み]</p> <p>地域における生活習慣病予防対策として、地域住民の要望に応え、医学講座等を開催するなど住民の予防意識向上に努めている。</p>	区分	平成21年度	平成22年度	実患者数	128人	117人	平均在院日数	26.0日	21.6日	延べ患者数	延3,314件	延2,533件	<p>実績に対する評価</p> <p>・スマイル患者数は、平成22年度の目標値を達成しており、患者の生活機能評価についても、全ての項目で退院時には入院時を上回るという成果を上げているが、平均在院日数が当初取組時（平成20年度実績 17日）よりも伸びていることからその短縮を図る必要がある。</p> <p>このため、平成23年度年度計画の目標を変更して平均在院日数と実患者数を目標値とし、スマイル患者の在院日数を短縮していくため、退院支援のさらなる改善を図っていく。</p> <p>・また、患者支援の一環として、太極拳指導員による「呼吸法やストレッチ」の指導を病棟で継続的に実施した。</p>	△	△	<p>延べ患者数は減少しているが、スマイルによる高齢者総合医療は評価できる。</p> <p>急性期から回復期や慢性期への移行に関する医療についてはより工夫が望まれる。</p>
		平成20年度実績	平成22年度目標値																			
延1,209件	延1,500件																					
区分	平成21年度	平成22年度																				
実患者数	128人	117人																				
平均在院日数	26.0日	21.6日																				
延べ患者数	延3,314件	延2,533件																				
<p>課題</p> <p>高齢者医療の標準化を推進するため、スマイル患者の疾患別患者数の第1位である「肺炎」について、クリニカルパスでの運用ができるよう、パスの作成が必要である。</p>																						

小項目3 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

ア 足柄上病院
 地域の中核的医療機関として、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供するとともに、救急医療・産科医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価		
			自己点数	評価点数	コメント		
<p>ア 中期目標期間内において足柄上病院が目指す医療</p> <p>・内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科において、一般病院として質の高い医療を提供するとともに、足柄上地域において高齢化が進んでいる状況に対応するために、高齢者に対する総合的な医療を推進する。</p> <p>・地域の中核的医療機関として、救急医療や産科医療を充実する。</p> <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組</p> <p>・「生活習慣病の予防」、「がんをはじめとする3大成人病の治療」、「生活機能障害に対するケア」などの「高齢者総合医療」を実施する。</p>	<p>・全身用コンピュータ断層撮影装置の整備・活用により検査時間の短縮化、迅速化を進め、高齢者をはじめとする患者の診療における負担軽減を図る。</p>	<p>・平成22年11月から64列CT(全身用コンピュータ断層撮影システム)を導入したことにより、従来5秒~25秒必要だった患者へのX線の照射時間が、3~10秒で同等の画像を得ることが可能となり、患者の息止め時間の短縮などの改善が図られた。</p> <p>・これまで、心臓カテーテル検査で評価を行っていた冠動脈疾患を、非侵襲的にCTでも評価することができるようになったことから、患者の診療における負担軽減が図れるようになった。</p>	実績に対する評価		△	△	<p>新設された64列CTにより患者の負担軽減が図られたことは評価できる。</p>
			課題				
			<p>64列CTの導入に合わせて、放射線科撮影画像のフィルムレス化を進めているが、23年度に予定されているPACS(画像保存・診断支援システム)の導入により、他部門も含めた全ての画像の電子管理化を図る。</p>				

小項目 4 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

ア 足柄上病院
地域の中核的医療機関として、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供するとともに、救急医療・産科医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価												
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント											
<p>・ICUの設置に向けた取組を行うとともに、消防本部との連携強化等により、救急医療を充実する。</p> <p>(参考) 年間救急受入数実績 (平成20年度) 9,972件</p>	<p>・消防本部との連携を強化するとともに、総合診療科医師等の確保により救急体制を充実して、救急患者の受入れを拡大する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">[年間救急受入の実績と目標値]</th> </tr> <tr> <th>平成20年度実績</th> <th>平成22年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">9,972件</td> <td style="text-align: center;">11,900件</td> </tr> </table>	[年間救急受入の実績と目標値]		平成20年度実績	平成22年度目標値	9,972件	11,900件	<p>・平成22年4月から総合診療科医師を増員し、救急体制の充実を図った。</p> <p>・地元消防組合との連絡調整会議を開催し、救急業務に係る意見交換や事例研究を行うとともに、防災訓練時に消防本部と共同して東名高速の多重事故を想定したトリアージ（多数の傷病者が一度に発生している状況で、その重傷度、緊急度に応じて優先度を判断し、治療に当たること）訓練を実施した。</p> <p>・消防組合の要請に基づき、救急隊救急救命士の再教育実習を当院で受け入れるなど、消防組合との連携の強化を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">[年間救急受入の実績]</th> </tr> <tr> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">11,545件</td> <td style="text-align: center;">11,872件</td> </tr> </table>	[年間救急受入の実績]		平成21年度	平成22年度	11,545件	11,872件	△	△	<p>削減すべき目標として、受入拒否件数を検討することが望まれる。</p>
		[年間救急受入の実績と目標値]															
平成20年度実績	平成22年度目標値																
9,972件	11,900件																
[年間救急受入の実績]																	
平成21年度	平成22年度																
11,545件	11,872件																
課題			<p>救急医療の充実のため、急性心不全、意識障害、大手術など、集中治療的管理を必要とする患者に適切に対応するため、ICU設置に向けた準備を進める必要がある。</p>														

小項目5 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

ア 足柄上病院
地域の中核的医療機関として、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供するとともに、救急医療・産科医療の充実に努めること。

中期計画			年度計画			業務実績			法人の自己評価		評価委員会の評価			
									自己点数	評価点数	コメント			
<p>・地域で安心して出産ができるよう、産科医療体制を充実するとともに、助産師による院内助産の取組を進める。</p>			<p>・産婦人科医師の確保を図るとともに、助産師外来や院内助産、母親教室、母乳育児支援等、助産師を活用した取組により、地域で安心して出産ができるための産科医療体制を充実する。</p>			<p>産婦人科医師の必要数の確保が出来ていない状況であるため、従来からローリスクの妊産褥婦に限って受入れを行っており、平成20年7月からは、正常な分娩であれば医師が立ち会わずに助産師が介助を行う、院内助産体制の整備を図ってきた。</p> <p>なお、ハイリスクの患者には、周産期救急医療の基幹病院を紹介するなどして対応している。</p> <p>助産師は、院内助産で分べん介助を行う他、週2回助産師外来で妊婦健康診査、保健指導を行い、さらに、週1回母乳育児外来、乳児検診等の業務を行うなど、妊娠・分娩・育児に必要な知識や情報を提供し、妊産婦との信頼関係を築くよう心がけている。</p>			<p>実績に対する評価</p> <p>平成22年度の方べん件数は、253件、うち助産師分べん件数は、73件となっており、ともに目標を達成した。</p> <p>また、きめ細かな妊産婦指導を行うため助産師による育児相談等の取組を進めた。</p>		Λ	Λ		
[分べん件数（助産師分べん件数）の実績と目標値]			[分べん件数（助産師分べん件数）の実績と目標値]			[分べん件数（助産師分べん件数）の実績]								
区分	平成20年度実績	平成26年度目標値	区分	平成20年度実績	平成22年度目標値	区分	平成21年度	平成22年度						
分べん件数	241件	370件	分べん件数	241件	250件	分べん件数	244件	253件						
うち助産師分べん件数	31件	80件	うち助産師分べん件数	31件	40件	うち助産師分べん件数	41件	73件						
									<p>課題</p> <p>地域のニーズに応じて行くためには、今後も助産師による分娩介助を増やして行く必要があり、院内助産の体制を強化していく必要がある。</p>					

小項目6 業務実績及び評価

<評価の大項目>	第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> 1 質の高い医療の提供 <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療機能の充実
-----------------------	---

中期目標	<p>イ こども医療センター</p> <p>県内唯一のこどもの専門病院として、心疾患、がん治療、障害児医療、思春期医療、稀少疾患医療等の高度・専門医療及び小児の緩和ケアの充実に努めること。</p> <p>また、周産期救急医療及び小児の三次救急医療の充実に努めること。</p>
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																		
			自己点数	評価点数	コメント																																																		
<p>ア 中期目標期間内においてこども医療センターが目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児の難治性疾患等に対する医療など高度・専門医療を充実する。 ・医療ニーズの変化に合わせた周産期救急及び小児の三次救急医療を充実する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓血管外科手術をはじめとする、手術の実施体制を充実する。 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">[手術件数の実績と目標値]</td></tr> <tr> <th style="width: 30%;">区分</th> <th style="width: 35%;">平成20年度実績</th> <th style="width: 35%;">平成22年度目標値</th> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td style="text-align: center;">3,895件</td> <td style="text-align: center;">3,770件</td> </tr> <tr> <td>うち新生児手術件数</td> <td style="text-align: center;">129件</td> <td style="text-align: center;">135件</td> </tr> <tr> <td>うち乳児外科手術件数</td> <td style="text-align: center;">48件</td> <td style="text-align: center;">50件</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">[手術件数の実績と目標値]</td></tr> <tr> <th style="width: 50%;">平成20年度実績</th> <th style="width: 50%;">平成26年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3,895件</td> <td style="text-align: center;">4,030件</td> </tr> </table>	[手術件数の実績と目標値]		区分	平成20年度実績	平成22年度目標値	手術件数	3,895件	3,770件	うち新生児手術件数	129件	135件	うち乳児外科手術件数	48件	50件	[手術件数の実績と目標値]		平成20年度実績	平成26年度目標値	3,895件	4,030件	<p>・小児の高度・専門的医療を提供する三次医療施設として、手術の実施件数の増加に対応するため、医師の増員等により手術体制を充実する。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="3" style="text-align: center;">[手術件数の実績と目標値]</td></tr> <tr> <th style="width: 30%;">区分</th> <th style="width: 35%;">平成21年度</th> <th style="width: 35%;">平成22年度</th> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td style="text-align: center;">3,735件</td> <td style="text-align: center;">3,684件</td> </tr> <tr> <td>うち新生児手術件数</td> <td style="text-align: center;">123件</td> <td style="text-align: center;">229件</td> </tr> <tr> <td>うち乳児外科手術件数</td> <td style="text-align: center;">59件</td> <td style="text-align: center;">86件</td> </tr> </table>	[手術件数の実績と目標値]			区分	平成21年度	平成22年度	手術件数	3,735件	3,684件	うち新生児手術件数	123件	229件	うち乳児外科手術件数	59件	86件	<p>・総手術件数としては、病棟看護師配置体制の厳格化による病床利用率の低下や、東日本大震災の影響により、主に小手術の多い診療科が件数減となったために、目標値3,770件に対し3,684件と、約2.3%未達成となった。</p> <p>・新生児手術件数は229件、乳児外科手術件数は86件と、目標値を大幅に上回った。</p> <p>・総件数は目標を未達成となったものの、新生児手術件数、乳児外科手術件数とも目標値を大幅に上回ったこと、また、診療科別でも脳神経外科及び心臓血管外科の手術件数が平成21年度対比でそれぞれ32.4%、13.2%の大幅増となる等、他の医療機関では対応が困難な高難易度の手術の実施割合が増加しており、全体の手術単価が24.0%伸長した。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="3" style="text-align: center;">[手術件数の実績]</td></tr> <tr> <th style="width: 30%;">区分</th> <th style="width: 35%;">平成21年度</th> <th style="width: 35%;">平成22年度</th> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td style="text-align: center;">3,735件</td> <td style="text-align: center;">3,684件</td> </tr> <tr> <td>うち新生児手術件数</td> <td style="text-align: center;">123件</td> <td style="text-align: center;">229件</td> </tr> <tr> <td>うち乳児外科手術件数</td> <td style="text-align: center;">59件</td> <td style="text-align: center;">86件</td> </tr> </table>	[手術件数の実績]			区分	平成21年度	平成22年度	手術件数	3,735件	3,684件	うち新生児手術件数	123件	229件	うち乳児外科手術件数	59件	86件	<p style="text-align: center;">実績に対する評価</p> <p style="text-align: center;">△</p>	<p style="text-align: center;">△</p>	<p>他の医療機関では新生児手術や乳児外科手術が少なくなっているなかで、積極的に取り組んでいることは評価できる。</p>
[手術件数の実績と目標値]																																																							
区分	平成20年度実績	平成22年度目標値																																																					
手術件数	3,895件	3,770件																																																					
うち新生児手術件数	129件	135件																																																					
うち乳児外科手術件数	48件	50件																																																					
[手術件数の実績と目標値]																																																							
平成20年度実績	平成26年度目標値																																																						
3,895件	4,030件																																																						
[手術件数の実績と目標値]																																																							
区分	平成21年度	平成22年度																																																					
手術件数	3,735件	3,684件																																																					
うち新生児手術件数	123件	229件																																																					
うち乳児外科手術件数	59件	86件																																																					
[手術件数の実績]																																																							
区分	平成21年度	平成22年度																																																					
手術件数	3,735件	3,684件																																																					
うち新生児手術件数	123件	229件																																																					
うち乳児外科手術件数	59件	86件																																																					
			<p style="text-align: center;">課題</p> <p>県内の医療ニーズを適切に対応するため、計画どおり進捗をしている機器の整備と合わせ、運用面の再編を早期に実現するための取組を進める必要がある。</p>																																																				

小項目7 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

イ こども医療センター

県内唯一のこどもの専門病院として、心疾患、がん治療、障害児医療、思春期医療、稀少疾患医療等の高度・専門医療及び小児の緩和ケアの充実に努めること。
また、周産期救急医療及び小児の三次救急医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>・小児期に特異的な感染症や病院内で発生する感染に対する予防及び拡大防止の体制を強化するため、感染制御室を設置する。</p>	<p>・小児期に特異的な感染症や病院内で発生する感染に対する予防及び拡大防止の体制を強化するため、感染制御室を設置する。</p>	<p>・小児期に特異的に発生する感染症への対応、多剤耐性菌やウイルス性感染症等の持ち込み及び拡大防止並びに院内感染の把握と対策強化を目的に、医師及び専従看護師により構成する感染制御室を設置した。</p> <p>・標準予防策推進を目的とした定期病棟ラウンド及び抗菌剤の適正使用推進に向けた病棟ラウンドを実施し、病棟横断的な療養環境の整備及び改善に向けた見直し並びに重症感染症患者に対する抗菌剤使用の監視を実施した。</p> <p>・感染症対策マニュアルの見直しを行い、多剤耐性菌等の持ち込み防止のための確認事項を追加した。また、手術部位感染症の把握を目的として、手術部位感染発生報告制度を導入し、院内感染対策の管理体制を強化した。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>小児期に発症する感染症の持ち込み防止及び院内拡大防止に向けた早期対応は、免疫機能が未熟な小児を対象に診療を行う小児病院では、重点的な取組が必要とされるものである。</p> <p>平成22年度には、感染制御室を設置して体制を整備し、日々発生する感染症への対応を行い、適時適切な問題点の抽出及び課題に対する即応が可能となった。</p>	△	△	
			<p>課題</p> <p>感染症管理体制のより一層の充実に向けて、感染制御室の権限の整備及び強化を進める。</p> <p>併せて、感染症対策に関する所内研修の参加セッション及び人数の拡大について、具体的な検討を行う必要がある。</p>			

小項目 8 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

イ こども医療センター
 県内唯一のこどもの専門病院として、心疾患、がん治療、障害児医療、思春期医療、稀少疾患医療等の高度・専門医療及び小児の緩和ケアの充実に努めること。
 また、周産期救急医療及び小児の三次救急医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																							
			自己点数	評価点数	コメント																																							
<p>・周産期救急及び小児の三次救急を充実するための体制を整備する。</p> <table border="1"> <caption>(参考) 周産期救急・小児三次救急実績</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N I C U 受入実患者数</td> <td>512人</td> </tr> <tr> <td>救急受入件数</td> <td>6,142件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度	N I C U 受入実患者数	512人	救急受入件数	6,142件	<p>・周産期救急及び小児の三次救急を引き続き実施する。</p> <table border="1"> <caption>[周産期救急の実績と目標値]</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th>平成20年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N I C U 受入実患者数</td> <td>512件</td> <td>600件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度	平成22年度	実績	目標値	N I C U 受入実患者数	512件	600件	<p>・出産年齢の高齢化や胎児診断技術の進展により、周産期医療体制の充実が求められている環境において、本県の周産期救急の基幹病院として、医学的リスクの高い母子の受入れを行った。</p> <p>・母体救急搬送からの超低出生体重児（出生体重1,000g未満）に関し、できるだけ多くの受入れを行うことを基本的な方針とし、平成21年度対比で19.1%の増となる患者受入れを行った。</p> <p>・未熟児網膜症を高頻度で発症する在胎26週以下の超低出生体重児の受入れは、平成21年度対比で25.8%の増となっている。</p> <p>・なお、救急受入件数に対する入院患者比率は、平成21年度の26.0%から27.1%へ微増しており、三次救急医療機関としての役割を果たしている。</p> <table border="1"> <caption>[周産期救急医療・小児三次救急等の実績]</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N I C U 受入実患者数</td> <td>512人</td> <td>599人</td> <td>543人</td> </tr> <tr> <td>うち超低出生体重児患者数</td> <td>36人</td> <td>47人</td> <td>56人</td> </tr> <tr> <td>うち在胎26週以下の超低出生体重児患者数</td> <td>19人</td> <td>31人</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>救急受入件数</td> <td>6,142件</td> <td>5,510件</td> <td>5,112件</td> </tr> <tr> <td>うち入院患者数</td> <td>—</td> <td>1,433人</td> <td>1,385人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	N I C U 受入実患者数	512人	599人	543人	うち超低出生体重児患者数	36人	47人	56人	うち在胎26週以下の超低出生体重児患者数	19人	31人	39人	救急受入件数	6,142件	5,510件	5,112件	うち入院患者数	—	1,433人	1,385人	<p>実績に対する評価</p> <p>本県の周産期救急の基幹病院として、特に他医療機関では対応が困難な超低出生体重児を中心とした受入れを進めており、平成20年11月にN I C U を6床増床して以来、周産期救急県外搬送患者は県全体で毎月1桁にとどまっている。</p> <p>また、こども医療センターにおける受入れ数は、同年度との比較で、超低出生体重児は20人（55.6%）、在胎26週以下の患者は20人（105.3%）の増となっており、重症度も高まっている。</p> <p>こうしたことから、周産期救急の基幹病院としての役割を果たしている。</p> <p>課題</p> <p>N I C U 21床のうち、平成22年度の1日平均の在院患者は20.8人であるが、新生児集中治療室管理料算定患者は18.2人に止まっており、G C U ※及び一般病棟との連携の一層の緊密化による運用効率の向上が必要である。</p> <p>また、在胎26週以下の超低出生体重児の受入増に対応するための体制整備も、併せて必要である。</p> <p>※G C U : N I C U で治療を受け、状態が安定した患者が、引き続き治療を受ける回復室で、患者の状態により直接入室する場合もある。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	
区分	平成20年度																																											
N I C U 受入実患者数	512人																																											
救急受入件数	6,142件																																											
区分	平成20年度	平成22年度																																										
	実績	目標値																																										
N I C U 受入実患者数	512件	600件																																										
区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度																																									
N I C U 受入実患者数	512人	599人	543人																																									
うち超低出生体重児患者数	36人	47人	56人																																									
うち在胎26週以下の超低出生体重児患者数	19人	31人	39人																																									
救急受入件数	6,142件	5,510件	5,112件																																									
うち入院患者数	—	1,433人	1,385人																																									

小項目 9 業務実績及び評価

<評価の大項目>

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1 質の高い医療の提供

(1) 医療機能の充実

中期目標

ウ 精神医療センター・芹香病院・せりがや病院
 芹香病院においては、精神科24時間救急の基幹病院として、精神科救急医療を実施するとともに、せりがや病院においては、アルコール・薬物依存症専門病院としての医療を実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																										
			自己点数	評価点数	コメント																										
<p>ア 中期目標期間内において精神医療センター（芹香病院・せりがや病院）が目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神科救急の基幹病院としての医療、自殺対策の一環としてのストレスケア医療、医療観察法に基づく医療、思春期医療及びアルコール・薬物依存症に関する専門的治療を実施し、県の精神科医療の中核病院としての役割を果たす。 新たな精神科医療への対応や療養環境の改善のために精神医療センター総合整備を推進する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組（芹香病院）</p> <ul style="list-style-type: none"> 神奈川県精神保健福祉センター等関係機関との連携を図ることにより、精神科24時間救急を基幹病院として実施し、措置入院患者の受入れのみでなく、急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者の受入れを拡大する。 	<p>（芹香病院）</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉職（精神保健福祉士）を増員し、神奈川県精神保健福祉センターや3県市主管課との密接な連携の下、措置入院患者のみでなく、急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者の受入れを拡大する。 	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県精神保健福祉センターや新たに政令市となった相模原市を含む4県市により構築された精神科救急医療システムにおいて、精神科救急の基幹病院としての役割を果たすとともに、精神科救急医療システム連絡調整会議などを通して密接な連携を図り、措置入院患者や急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者を積極的に受け入れた。 常勤の精神保健福祉士を増員し、救急患者等の受入れや患者及び家族からの入院相談など地域医療相談機能の強化を図った。 	<p>実績に対する評価</p> <p>△</p> <p>△</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も措置入院患者の受入れを継続的に実施していくため、引き続き、4県市主管課等と密接な連携を図っていく必要がある。 新棟の整備に伴い精神科救急のより一層の拡大を図るため、病床数の増など、円滑な受入れの体制整備について今後検討を進める必要がある。 	<p>△</p> <p>△</p>	<p>コメント</p>																										
						<p>【精神科救急件数の実績と目標値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度実績</th> <th>平成22年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>措置入院患者</td> <td>93件</td> <td>100件</td> </tr> <tr> <td>急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者</td> <td>40件</td> <td>50件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度実績	平成22年度目標値	措置入院患者	93件	100件	急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	40件	50件	<p>【精神科救急件数の実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>措置入院患者</td> <td>89件</td> <td>109件</td> </tr> <tr> <td>急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者</td> <td>63件</td> <td>43件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【相談件数の実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療相談件数</td> <td>4,461件</td> <td>4,593件</td> </tr> <tr> <td>うち初診相談件数</td> <td>871件</td> <td>960件</td> </tr> <tr> <td>うち入院・通院につながった件数</td> <td>283件</td> <td>296件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・4県市が実施している精神科救急医療システムで、自傷他害の恐れのある精神科障害者に対する精神科24時間救急の病床を確保している基幹病院は、現在7病院29床あるが、芹香病院は平成14年度から最多の12床を確保しており、基幹病院の中でも中心的な役割を担っている。</p>	区分	平成21年度	平成22年度	措置入院患者	89件	109件	急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	63件	43件	区分	平成21年度	平成22年度	診療相談件数	4,461件	4,593件
区分	平成20年度実績	平成22年度目標値																													
措置入院患者	93件	100件																													
急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	40件	50件																													
区分	平成21年度	平成22年度																													
措置入院患者	89件	109件																													
急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	63件	43件																													
区分	平成21年度	平成22年度																													
診療相談件数	4,461件	4,593件																													
うち初診相談件数	871件	960件																													
うち入院・通院につながった件数	283件	296件																													

小項目 10 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期
目標

ウ 精神医療センター芹香病院・せりがや病院
 芹香病院においては、精神科24時間救急の基幹病院として、精神科救急医療を実施するとともに、
 せりがや病院においては、アルコール・薬物依存症専門病院としての医療を実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価							
			自己点数	評価点数	コメント							
<p>・救急・急性期医療において、早期退院が困難な患者に対し、集中的なリハビリテーションを行い、円滑な退院促進・社会復帰を図る。</p> <p>・ストレスケア医療や、精神障害が多発する思春期を対象とした精神科医療等を実施する。</p>	<p>・病室環境のアメニティの改善、難治性うつ病等に対する治療法（反復性経頭蓋磁気刺激療法）の開拓、復職支援等のリハビリテーションの導入等、うつ病等の精神疾患患者を対象としたストレスケア医療に取り組む。</p>	<p>・平成22年度から、うつ病・うつ状態による休職者の職場復帰を目的とし、通所によるリハビリテーションプログラム（復職支援プログラム）を開始した。認知行動療法や作業療法などを組み合わせ、医師のほか臨床心理士、作業療法士など職種による治療プログラムにより、1グループ8名程度、4ヶ月間を1クールとして、年4回実施した。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">[復職支援プログラム実施患者数実績]</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平成22年度</td> </tr> <tr> <td>実患者</td> <td>37人 延1,559人</td> </tr> </table> <p>・反復性経頭蓋磁気刺激療法[*]の開発に向けて、平成22年度は26人（平成21年度との合計59人）の患者の協力を得て、気分障害への効果及び安全性について検証した。また、神経変性疾患における軽度認知機能障害などへの治療対象拡大の可能性について臨床研究に取り組んだ。</p> <p>※反復性経頭蓋磁気刺激法（rTMS） 8の字型のコイルに電流を流すと周囲に磁界が発生し、その作用で脳の一定の部位に微弱な電流が生じる。それにより脳の神経細胞を刺激して機能を調整する。</p> <p>・リラックス効果のあるアロマセラピーをストレスケア病棟で実施し、患者の心身の健康とともに、病室環境のアメニティの改善に努めた。</p> <p>・地域の内科医の会合等に参加し、ストレスケア病棟のプログラム内容等の紹介を行い、患者の受入れに努めた。</p>	[復職支援プログラム実施患者数実績]		平成22年度		実患者	37人 延1,559人	実績に対する評価	△	△	
			[復職支援プログラム実施患者数実績]									
			平成22年度									
実患者	37人 延1,559人											
課題												
<p>復職支援プログラムの更なる充実や参加者の増加を図るとともに、プログラム終了後において、復職等の状況について確実な把握に努める必要がある。</p>												

小項目 1 1 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

- ウ 精神医療センター芹香病院・せりがや病院
- 芹香病院においては、精神科24時間救急の基幹病院として、精神科救急医療を実施するとともに、せりがや病院においては、アルコール・薬物依存症専門病院としての医療を実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価											
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント										
<p>・医療観察法に基づき既に指定を受けている指定通院医療機関及び鑑定入院医療機関としての医療機能に加えて、入院治療を実施する30床規模の専門病棟の整備を推進する。</p>	<p>・心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（医療観察法）に基づく指定医療機関としての機能整備を推進するため、入院治療を実施する専門病棟の整備に係る基本・実施設計に着手する。</p>	<p>【医療観察法病棟の整備】</p> <p>「精神医療センター総合整備計画」に基づき、医療観察法に基づく指定医療機関としての機能整備を推進するため、入院治療を実施する専門病棟である医療観察法病棟の基本・実施設計を実施した。</p> <p>また、建設予定地の建築物の除却（解体工事）を行った。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">【医療観察法病棟の概要（基本・実施設計）】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床数</td> <td>33床</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>約2,900㎡</td> </tr> <tr> <td>建物高</td> <td>約10m</td> </tr> <tr> <td>建物構造</td> <td>鉄筋コンクリート造 2階建</td> </tr> </tbody> </table>	【医療観察法病棟の概要（基本・実施設計）】		病床数	33床	延床面積	約2,900㎡	建物高	約10m	建物構造	鉄筋コンクリート造 2階建	<p>医療観察法病棟は敷地面積の関係から2階建となり、諸室の配置に工夫が求められたが、より良い療養環境をめざし検討を重ねた結果、療養環境と医療機能双方を兼ね備えることができる見込みがついた。</p>	△	△	
			【医療観察法病棟の概要（基本・実施設計）】													
病床数	33床															
延床面積	約2,900㎡															
建物高	約10m															
建物構造	鉄筋コンクリート造 2階建															
<p>課題</p> <p>医療観察法病棟の病棟運営方法等について、様々な視点から検討を行う必要がある。</p>																

小項目 1 2 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

ウ 精神医療センター芹香病院・せりがや病院
 芹香病院においては、精神科24時間救急の基幹病院として、精神科救急医療を実施するとともに、せりがや病院においては、アルコール・薬物依存症専門病院としての医療を実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価													
			自己点数	評価点数	コメント													
イ 中期目標期間内の具体的な取組 (せりがや病院) アルコールや覚醒剤等の薬物による依存症と中毒性精神障害を対象とした専門治療プログラムによる依存症医療を実施する。	(せりがや病院) ・アルコールや覚醒剤等の薬物による依存症と中毒性精神障害を対象とした専門治療プログラムによる依存症医療を実施する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">[外来初診患者数の実績と目標値]</th> </tr> <tr> <th>平成20年度実績</th> <th>平成22年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延756人</td> <td>延800人</td> </tr> </tbody> </table>	[外来初診患者数の実績と目標値]		平成20年度実績	平成22年度目標値	延756人	延800人	・アルコールや覚醒剤等の薬物による依存症を対象として、治療と教育を行うという方針に基づき、ミーティング等を取り入れた治療プログラムにより計画的な依存症医療を実施した。 ・依存症の治療方法や患者への対処方法などについて家族の理解を深めるため、家族教室を年間を通じて定期的に開催した。 アルコール家族教室 年間23回 第1・第3木曜日 薬物家族教室 年間22回 第2・第4木曜日 ・中毒性精神病（幻覚・妄想状態等）を発症した患者を対象として、精神病症状の治療とともに、依存症医療を実施した。	実績に対する評価 外来初診患者数は目標値（延800人）の約92%にとどまったが、きめ細かな外来診療に努め、再来患者数の増加を図ることができた。	B	B							
		[外来初診患者数の実績と目標値]																
		平成20年度実績	平成22年度目標値															
延756人	延800人																	
課題 外来延患者数は増加したものの、入院患者数が減少しているため、保護室利用の回転率の向上を図ることなどにより、入院患者数の増加を図る必要がある。																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成21年度実績</th> <th>平成22年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>延20,081人</td> <td>延19,231人</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>延13,462人</td> <td>延14,691人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成21年度実績</th> <th>平成22年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来初診患者数</td> <td>延776人</td> <td>延734人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成21年度実績	平成22年度実績	入院患者数	延20,081人	延19,231人	外来患者数	延13,462人	延14,691人	区分	平成21年度実績	平成22年度実績	外来初診患者数	延776人	延734人			
区分	平成21年度実績	平成22年度実績																
入院患者数	延20,081人	延19,231人																
外来患者数	延13,462人	延14,691人																
区分	平成21年度実績	平成22年度実績																
外来初診患者数	延776人	延734人																

小項目 1 3 業務実績及び評価

＜評価の大項目＞

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

ウ 精神医療センター芹香病院・せりがや病院
 芹香病院においては、精神科24時間救急の基幹病院として、精神科救急医療を実施するとともに、
 せりがや病院においては、アルコール・薬物依存症専門病院としての医療を実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価							
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント						
<p>イ 中期目標期間内の具体的な取組 (せりがや病院) アルコールや覚醒剤等の薬物による依存症と中毒性精神障害を対象とした専門治療プログラムによる依存症医療を実施する。</p>	<p>・高齢者の再入院の繰返しを防止するため、高齢者を対象とする入院治療プログラムの充実を図る。</p>	<p>高齢化しているアルコール依存症の患者は、身体的な合併症や認知症を持つことから、退院後において家族、高齢者用施設及び地域社会に適応できず、通院中断や再入院の傾向がある。そのため、平成22年度から依存症の治療として、心身の機能低下の防止を目的とした作業療法を導入するなど、入院治療プログラムの充実を図った。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">区分</th> <th style="width: 50%;">平成22年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65歳以上の入院患者の割合</td> <td>7.4%</td> </tr> <tr> <td>高齢者向け入院治療プログラム実施患者数</td> <td>実患者数19人 延97人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成22年度実績	65歳以上の入院患者の割合	7.4%	高齢者向け入院治療プログラム実施患者数	実患者数19人 延97人	<p>平成22年度は、65歳以上の高齢者の割合は、少なかったが、高齢者向けの入院治療プログラムを着実に実施することができた。</p>	△	△	
区分	平成22年度実績											
65歳以上の入院患者の割合	7.4%											
高齢者向け入院治療プログラム実施患者数	実患者数19人 延97人											
			課題									
			<p>高齢の依存症者の入院適応について引き続き検討するとともに、心身の機能低下の防止に効果の期待される高齢者以外の患者への当該プログラムの適用を進めていく。</p>									

小項目 1 4 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

ウ 精神医療センター芹香病院・せりがや病院
 芹香病院においては、精神科24時間救急の基幹病院として、精神科救急医療を実施するとともに、せりがや病院においては、アルコール・薬物依存症専門病院としての医療を実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
イ 中期目標期間内の具体的な取組 (せりがや病院) アルコールや覚醒剤等の薬物による依存症と中毒性精神障害を対象とした専門治療プログラムによる依存症医療を実施する。	・自助グループ等への参加が難しい患者に対して、従来からのアルコール外来ミーティングに加え、外来作業療法を開始する。	退院後などにアルコール依存症からの回復を目指す断酒会等自助グループへの参加が身体的に困難な患者等に対して、従来からのアルコール外来ミーティングに加えて手工芸、塗り絵などの作業療法も実施した。 [外来作業療法患者数の実績] 平成22年度 実患者数18人 延188人	アルコール依存症から回復を目指すための退院後の治療継続の手段のひとつとして、外来作業療法を開始することができた。	△	△	
			課題 患者のニーズも踏まえつつ、参加しやすい作業療法を取り入れるなど、療法内容の充実を図る必要がある。			

小項目 15 業務実績及び評価

＜評価の大項目＞

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

ウ 精神医療センター芹香病院・せりがや病院

芹香病院においては、精神科24時間救急の基幹病院として、精神科救急医療を実施するとともに、せりがや病院においては、アルコール・薬物依存症専門病院としての医療を実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価							
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント						
イ 中期目標期間内の具体的な取組 (せりがや病院) アルコールや覚醒剤等の薬物による依存症と中毒性精神障害を対象とした専門治療プログラムによる依存症医療を実施する。	・覚せい剤依存患者に対する、外来での再乱用防止認知行動療法を実施する。	覚せい剤の再乱用防止を図るため、当院退院患者や外来初診患者を対象に、医師、看護師、ケースワーカーがそれぞれの専門領域において専門性を生かし、認知行動療法や動機付け面接法などを取り入れた包括的な集団療法プログラムであるSMARPPによる治療を実施した。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">[SMARPP実施患者数の実績]</th> </tr> <tr> <th style="width: 50%;">平成21年度</th> <th style="width: 50%;">平成22年度</th> </tr> <tr> <td>実患者数12人 延180人</td> <td>実患者数100人 延700人</td> </tr> </table> ※SMARPP (Serigaya Methamphetamine Relapse Prevention Program) とは、海外で有効性が確認されている覚せい剤依存症に対する総合的外来治療プログラムを我が国の実情に沿った形で、せりがや病院で修正したものである。	[SMARPP実施患者数の実績]		平成21年度	平成22年度	実患者数12人 延180人	実患者数100人 延700人	再乱用防止認知行動療法のプログラムの実施回数を週1回から週2回に増やすことにより、SMARPPを適用する患者数を大幅に増加させることができた。	Λ	Λ	プログラムの実施回数を増やしたことによる適用患者数の大幅増は評価できる。
			[SMARPP実施患者数の実績]									
平成21年度	平成22年度											
実患者数12人 延180人	実患者数100人 延700人											
課題	プログラムの実施に携わる職員に対して研修を充実させるなど職員の育成に努め、より効果的な治療につなげていく必要がある。											

小項目 16 業務実績及び評価

＜評価の大項目＞

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標	<p>エ がんセンター</p> <p>神奈川県のがん対策を総合的に進め、都道府県がん診療連携拠点病院としての機能の充実を図るため、がんに関する高度・専門医療、外来化学療法、放射線治療及び緩和ケアの充実に努めること。また、がんの診断や治療に関する人材を育成すること。</p>
-------------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																			
			自己点数	評価点数	コメント																			
<p>ア 中期目標期間内においてがんセンターが目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来化学療法や放射線治療などがんに関する高度・専門医療を実施する。 ・都道府県がん診療連携拠点病院として、がん治療の均てん化を進めるため人材育成を推進する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療待ち、手術待ちの患者が多数いる状況を改善するため、外来診療及び手術実施体制の整備、充実を図る。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">[手術件数の実績と目標値]</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成20年度実績</td> <td style="text-align: center;">平成26年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2,471件</td> <td style="text-align: center;">3,900件</td> </tr> </table>	[手術件数の実績と目標値]		平成20年度実績	平成26年度目標値	2,471件	3,900件	<ul style="list-style-type: none"> ・麻酔科医師等の増員により手術実施体制を充実し、診療待ち・手術待ちの患者が多数いる状況を改善する。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">[手術件数の実績と目標値]</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成20年度実績</td> <td style="text-align: center;">平成22年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2,471件</td> <td style="text-align: center;">2,700件</td> </tr> </table>	[手術件数の実績と目標値]		平成20年度実績	平成22年度目標値	2,471件	2,700件	<p>平成22年度は、手術実施体制の充実を図り手術件数の拡大を目指したが、手術室の看護師が確保できず手術実施体制を強化することができなかった。</p> <p>こうした中、手術室のスタッフ間では、日々の手術室運営について、手術と手術の合間の時間の更なる短縮、手術後の使用材料記録の簡便化等業務を見直すなど効率的な運用を図ったことにより、手術件数は、平成21年度対比で51件増（2.0%増）の2,565件（年度目標達成率95%）となった。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">[手術件数の実績]</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成21年度</td> <td style="text-align: center;">平成22年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2,514件</td> <td style="text-align: center;">2,565件</td> </tr> </table>	[手術件数の実績]		平成21年度	平成22年度	2,514件	2,565件	<p style="text-align: center;">実績に対する評価</p> <p>外来初診患者が平成21年度17.5%増え、これによる手術適用患者の増加も見込まれた中、手術件数を伸ばして、手術待ち患者の増嵩を抑えることができた。</p> <p>年度末の手術待ち患者数は107人と、前年度比較で27人減少（減少割合20.1%）であった。</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">課題</p> <p>診療待ち・手術待ち患者が多数いる状況の改善を図るため、手術室スタッフの確保に努め、効率的な運用体制を確立するなどの手術実施体制の充実を図る必要がある。</p>	<p>△</p>	<p>△</p>	
[手術件数の実績と目標値]																								
平成20年度実績	平成26年度目標値																							
2,471件	3,900件																							
[手術件数の実績と目標値]																								
平成20年度実績	平成22年度目標値																							
2,471件	2,700件																							
[手術件数の実績]																								
平成21年度	平成22年度																							
2,514件	2,565件																							

小項目 17 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

エ がんセンター

神奈川県のがん対策を総合的に進め、都道府県がん診療連携拠点病院としての機能の充実を図るため、がんに関する高度・専門医療、外来化学療法、放射線治療及び緩和ケアの充実に努めること。また、がんの診断や治療に関する人材を育成すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																										
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																									
<p>・外来化学療法件数の増加に対応するため、外来化学療法室の拡充を図る。</p> <table border="1"> <caption>[外来化学療法件数の実績と目標値]</caption> <thead> <tr> <th>平成20年度実績</th> <th>平成26年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12,130件</td> <td>15,000件</td> </tr> </tbody> </table>	平成20年度実績	平成26年度目標値	12,130件	15,000件	<p>・外来化学療法や放射線治療を実施し、がん対策を総合的に推進する。</p> <table border="1"> <caption>[外来化学療法件数の実績と目標値]</caption> <thead> <tr> <th>平成20年度実績</th> <th>平成22年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12,130件</td> <td>12,580件</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>[放射線治療件数の実績と目標値]</caption> <thead> <tr> <th>平成20年度実績</th> <th>平成22年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18,060件</td> <td>19,500件</td> </tr> </tbody> </table>	平成20年度実績	平成22年度目標値	12,130件	12,580件	平成20年度実績	平成22年度目標値	18,060件	19,500件	<p>【外来化学療法】</p> <p>・外来化学療法が年々増加する傾向の中で、より多くの患者に外来化学療法を行えるよう、平成21年12月から抗がん剤のハーセプチン適用の乳がん患者に対する同剤の投与間隔を1週間から3週間にする見直しを行った。</p> <p>これにより、当該抗がん剤適用患者数は、年間凡そ1,000件減少が見込まれ、その分他の化学療法の件数の増加を見込んだが、最終的には、平成21年度対比で577件減少の11,746件となり、目標達成率は93.4%とどまったものの、結果的に、化学療法患者数が増加したことから、多くの患者に化学療法を実施することができた。</p> <table border="1"> <caption>[外来化学療法件数の実績]</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>12,323件</td> <td>11,746件</td> </tr> <tr> <td>実患者数</td> <td>1,427人</td> <td>1,526人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【放射線治療】</p> <p>・放射線治療については、患者の身体的負担に配慮した精密な治療計画に基づく高エネルギー照射治療を積極的に進めた。</p> <p>治療計画装置の追加整備により、病巣への治療効果が高く、病巣周辺の正常細胞への放射線影響が低い非対向型照射や多門照射をより多く実施した。</p> <p>[平成22年度の照射治療]</p> <p>非対向照射 7,101件 (前年度対比+2,127件)</p> <p>多門照射 5,716件 (前年度対比+3,486件)</p> <p>単純照射 4,514件 (前年度対比△3,044件)</p> <p>結果として、放射線治療件数は、平成21年度実績を上回る19,109件となり、年度目標達成率は98.0%と、ほぼ目標を達成することができた。</p> <table border="1"> <caption>[放射線治療件数の実績]</caption> <thead> <tr> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15,696件</td> <td>19,109件</td> </tr> </tbody> </table>		平成21年度	平成22年度	件数	12,323件	11,746件	実患者数	1,427人	1,526人	平成21年度	平成22年度	15,696件	19,109件	<p>実績に対する評価</p> <p>・外来化学療法については、抗がん剤の投与間隔を見直し、一人あたりの投与回数を減らし患者の負担軽減を図るとともに、より多くの患者に化学療法を実施することができた。</p> <p>・放射線治療については、患者の身体的負担に配慮した精密な治療計画に基づく高エネルギー照射治療を積極的に進めることができた。</p> <p>課題</p> <p>・外来化学療法については、外来看護師や薬剤師を確保して運用体制を充実する必要がある。</p> <p>・放射線療法については、がん病変だけに放射線を集中させ腫瘍制御率を高率に維持しながら合併症を低く抑えることができる強度変調放射線治療(IMRT)の導入、放射線技師の育成等による運用体制の強化を図る必要がある。</p>	<p>B</p>	<p>B</p>	<p>外来化学療法の種類や進歩を踏まえ、今後件数以外の視点における目標設定について検討が望まれる。</p>
平成20年度実績	平成26年度目標値																														
12,130件	15,000件																														
平成20年度実績	平成22年度目標値																														
12,130件	12,580件																														
平成20年度実績	平成22年度目標値																														
18,060件	19,500件																														
	平成21年度	平成22年度																													
件数	12,323件	11,746件																													
実患者数	1,427人	1,526人																													
平成21年度	平成22年度																														
15,696件	19,109件																														

小項目 18 業務実績及び評価

<評価の大項目>

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1 質の高い医療の提供

(1) 医療機能の充実

中期
目標

エ がんセンター

神奈川県のがん対策を総合的に進め、都道府県がん診療連携拠点病院としての機能の充実を図るため、がんに関する高度・専門医療、外来化学療法、放射線治療及び緩和ケアの充実に努めること。
また、がんの診断や治療に関する人材を育成すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価													
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント												
<p>・放射線治療を充実するため、3次元照射が可能な放射線治療装置や重粒子線治療装置を導入する。</p>	<p>・平成26年度からの治療開始を目指して、重粒子線治療施設の整備に係る基本設計業務に取り組む。</p>	<p>・従来の放射線治療では効果が上がりにくいがんに対し、治療効果が期待され、かつ副作用が少ないとされる最先端の重粒子治療装置を導入し、都道府県がん診療連携拠点病院として、県民に質の高いがん医療を提供するため整備を進めている。</p> <p>・平成22年度は、重粒子線治療施設の建屋の基本設計を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【重粒子線治療装置概要】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築面積</td> <td>2,999㎡</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>6,492㎡</td> </tr> <tr> <td>階数</td> <td>地下2階、地上1階建て</td> </tr> <tr> <td>構造</td> <td>R C造、一部鉄骨造を検討</td> </tr> <tr> <td>治療室数</td> <td>4治療室 6治療ポート</td> </tr> </tbody> </table> <p>・重粒子線治療について広く知ってもらうため、平成22年10月に医療従事者を対象とした講演会を開催した。</p>	【重粒子線治療装置概要】		建築面積	2,999㎡	延床面積	6,492㎡	階数	地下2階、地上1階建て	構造	R C造、一部鉄骨造を検討	治療室数	4治療室 6治療ポート	<p>重粒子線治療装置においては建屋と治療装置が密接に関連するため、ビームラインなどの治療装置の情報を踏まえ、建屋の基本設計を実施し、当初の計画どおり業務を進めた。</p>	△	△	
			【重粒子線治療装置概要】															
建築面積	2,999㎡																	
延床面積	6,492㎡																	
階数	地下2階、地上1階建て																	
構造	R C造、一部鉄骨造を検討																	
治療室数	4治療室 6治療ポート																	
			<p>課題</p> <p>平成23年度は装置の入札・契約及び建屋の実設計を予定しており、装置と建屋間の設計調整及び今後の進捗管理が課題となる。</p> <p>また、今後、重粒子線治療施設整備事業とがんセンター総合整備事業が同時に進行するため、詳細な事業間調整が必要となる。</p>															

小項目 19 業務実績及び評価

＜評価の大項目＞

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

エ がんセンター

神奈川県のがん対策を総合的に進め、都道府県がん診療連携拠点病院としての機能の充実を図るため、がんに関する高度・専門医療、外来化学療法、放射線治療及び緩和ケアの充実に努めること。
また、がんの診断や治療に関する人材を育成すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																									
			自己点数	評価点数	コメント																																																									
<p>・専門医を育成するため、後期臨床研修を充実する。また、都道府県がん診療連携拠点病院として、県内の医療従事者を対象に研修等を行う。さらに、地域がん診療連携拠点病院が行う研修等への支援や地域の医療機関も参加できる合同カンファレンスを実施する。</p>	<p>・がん専門医を育成するため、後期臨床研修を充実する。</p> <p>・都道府県がん診療連携拠点病院としてがん治療の均てん化を進めるため、県内の医療従事者を対象に研修等を行うとともに、地域がん診療連携拠点病院が行う研修等への支援や地域の医療機関も参加できる合同カンファレンスを実施する。</p>	<p>都道府県がん診療連携拠点病院としてがん治療の均てん化を進めるため、県内の医療従事者を対象にがん臨床講座や緩和ケア研修会を開催した。 また、がん専門医を目指す若い後期臨床研修医（いわゆるレジデント）の教育、看護師等医療スタッフの育成、がん薬物療法専門医の育成に寄与した。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p style="font-size: 24px;">Λ</p>	<p>評価委員会の評価</p> <p style="font-size: 24px;">Λ</p>	<p>課題</p> <p>引き続きがん医療の均てん化に向け専門医等の育成を進める必要がある。</p>																																																									
<p>〔参考〕がん専門研修実績（平成20年度）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん臨床講座</td> <td>30回</td> <td>568人</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修</td> <td>2回</td> <td>94人</td> </tr> </tbody> </table>		区分	回数	参加人数	がん臨床講座	30回	568人	緩和ケア研修	2回	94人	<p>〔がん専門研修の実績と目標値〕</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成20年度実績</th> <th colspan="2">平成22年度目標値</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>参加人数</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん臨床講座</td> <td>30回</td> <td>568人</td> <td>30回</td> <td>600人</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修</td> <td>2回</td> <td>94人</td> <td>2回</td> <td>50人</td> </tr> </tbody> </table>		区分	平成20年度実績		平成22年度目標値		回数	参加人数	回数	参加人数	がん臨床講座	30回	568人	30回	600人	緩和ケア研修	2回	94人	2回	50人	<p>〔がん専門研修の実績〕</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成21年度実績</th> <th colspan="2">平成22年度実績</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>参加人数</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん臨床講座</td> <td>25回</td> <td>514人</td> <td>33回</td> <td>648人</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">（毎週水曜日 18:30～19:30）</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修</td> <td>2回</td> <td>61人</td> <td>2回</td> <td>55人</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">（2回で1コース H23年2月5・6日）</td> </tr> </tbody> </table>		区分	平成21年度実績		平成22年度実績		回数	参加人数	回数	参加人数	がん臨床講座	25回	514人	33回	648人	（毎週水曜日 18:30～19:30）					緩和ケア研修	2回	61人	2回	55人	（2回で1コース H23年2月5・6日）				
区分	回数	参加人数																																																												
がん臨床講座	30回	568人																																																												
緩和ケア研修	2回	94人																																																												
区分	平成20年度実績		平成22年度目標値																																																											
	回数	参加人数	回数	参加人数																																																										
がん臨床講座	30回	568人	30回	600人																																																										
緩和ケア研修	2回	94人	2回	50人																																																										
区分	平成21年度実績		平成22年度実績																																																											
	回数	参加人数	回数	参加人数																																																										
がん臨床講座	25回	514人	33回	648人																																																										
（毎週水曜日 18:30～19:30）																																																														
緩和ケア研修	2回	61人	2回	55人																																																										
（2回で1コース H23年2月5・6日）																																																														

小項目 20 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

オ 循環器呼吸器病センター
循環器・呼吸器疾患の専門病院として、心疾患治療及び肺がん治療等の充実に努めること。
また、結核医療を継続的に実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																									
			自己点数	評価点数	コメント																									
<p>ア 中期目標期間内において循環器呼吸器病センターが目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭心症、心筋梗塞に関する治療など総合的な循環器医療を推進する。 ・増加する肺がん治療を強化する。 ・結核医療を継続的に実施する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓カテーテル・手術を中心とした循環器疾患治療の実施体制を充実する。 <p>(参考) P C I 症例数実績 (H20年度) 414件</p>	<p>・循環器科医師等を増員し、心臓カテーテルや手術を中心とした循環器疾患治療の実施体制の充実に努める。</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">[P C I 症例数の実績と目標値]</th></tr> <tr><th>平成20年度実績</th><th>平成22年度目標値</th></tr> <tr><td>414件</td><td>355件</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th colspan="2">[心臓手術の実績と目標値]</th></tr> <tr><th>平成20年度実績</th><th>平成22年度目標値</th></tr> <tr><td>61件</td><td>31件</td></tr> </table>	[P C I 症例数の実績と目標値]		平成20年度実績	平成22年度目標値	414件	355件	[心臓手術の実績と目標値]		平成20年度実績	平成22年度目標値	61件	31件	<p>・P C I 症例については、最新の研究結果によると、3枝病変は薬剤溶出性ステントを用いても、冠動脈バイパス術が長期的には予後が良く、糖尿病があるとともにこの傾向が顕著であると報告されていることから、エビデンスに基づく長期予後の改善を目指した良質な医療を提供していくため、P C I の適応を厳格化した。</p> <p>その結果、P C I 症例数は減少したが、不整脈疾患の内科的治療であるカテーテルアブレーション件数は、32件から65件に倍増した。</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">[P C I 症例数の実績]</th></tr> <tr><th>平成21年度</th><th>平成22年度</th></tr> <tr><td>329件</td><td>279件</td></tr> </table> <p>・心臓手術については、年度当初から心臓血管外科医師の必要数が確保され、手術実施体制の充実が図られたことにより、特に冠動脈バイパス術及び高齢化による弁形成術は、平成21年度に比べ17件、39件とそれぞれ伸びたことから、全体では78件と目標を大幅に上回った。</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">[心臓手術の実績]</th></tr> <tr><th>平成21年度</th><th>平成22年度</th></tr> <tr><td>31件</td><td>78件</td></tr> </table>	[P C I 症例数の実績]		平成21年度	平成22年度	329件	279件	[心臓手術の実績]		平成21年度	平成22年度	31件	78件	<p>実績に対する評価</p> <p>総合的な循環器医療を推進していく中で、P C I 症例数は減少しているが、心臓手術やカテーテルアブレーションなど不整脈治療は大幅に伸びており、循環器疾患治療の専門病院としての役割を果たしている。</p> <p>なお、循環器疾患治療の手術件数は、目標値386件のところ実績は357件で達成率92.5%となった。</p>	B	A	<p>P C I 症例数は減少しているが、治療の目的や内容、種類は多様であることから、P C I の数値だけではなく評価する必要がある。</p> <p>医師の確保により手術件数が大幅に伸びたことやカテーテルアブレーションなど不整脈治療が大幅に伸びたことは評価できる。</p> <p>P C I の適応を厳格化し、カテーテルアブレーションを増やしていくことを今後も継続する方針であれば、カテーテルアブレーション件数を数値目標としての検討が望まれる。</p>
		[P C I 症例数の実績と目標値]																												
平成20年度実績	平成22年度目標値																													
414件	355件																													
[心臓手術の実績と目標値]																														
平成20年度実績	平成22年度目標値																													
61件	31件																													
[P C I 症例数の実績]																														
平成21年度	平成22年度																													
329件	279件																													
[心臓手術の実績]																														
平成21年度	平成22年度																													
31件	78件																													
<p>課題</p> <p>今後も低侵襲治療をより多くの患者に実現できるよう体制を整備する必要がある。</p>																														

小項目 2 1 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

オ 循環器呼吸器病センター
循環器・呼吸器疾患の専門病院として、心疾患治療及び肺がん治療等の充実に努めること。
また、結核医療を継続的に実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																		
			自己点数	評価点数	コメント																		
<p>・肺がん治療を強化するため、身体への負担が少ない胸腔鏡下手術や化学療法、放射線治療を実施する体制を充実する。</p>	<p>・呼吸器外科医師等の増員や外来及び入院患者への化学療法実施体制を整備し、肺がん治療を強化する。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">[胸腔鏡下手術の実績と目標値]</th> </tr> <tr> <th>平成20年度実績</th> <th>平成22年度目標値</th> </tr> <tr> <td>288件</td> <td>317件</td> </tr> </table>	[胸腔鏡下手術の実績と目標値]		平成20年度実績	平成22年度目標値	288件	317件	<p>・肺がんなどの呼吸器疾患患者について、平成22年度は地域医療連携の強化・充実に図るため、近隣医療機関への医師派遣による紹介患者の増などから前年度対比では内科で1,424人、外科では245人とそれぞれ延患者数は増えた。また、肺がん患者についても、延患者で323人増加している。</p> <p>・胸腔鏡下手術については、延患者数が増加する中で呼吸器外科医師の増員は実施できなかったものの、個々の症例において術前評価～手術～術後評価～外来診察までの一体的な流れを効率的にしたことにより、内科受診の肺がん患者の増に対応することができ、手術件数は目標値を上回った。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">[胸腔鏡下手術の実績]</th> </tr> <tr> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> <tr> <td>290件</td> <td>326件</td> </tr> </table> <p>・化学療法ワーキンググループ会議を再編成し、標準化学療法の治療計画書の策定や看護師・医師を中心とした研究会を企画するなど肺がん治療の強化に努めた。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">[化学療法件数の実績]</th> </tr> <tr> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> <tr> <td>1,030件</td> <td>1,194件</td> </tr> </table>	[胸腔鏡下手術の実績]		平成21年度	平成22年度	290件	326件	[化学療法件数の実績]		平成21年度	平成22年度	1,030件	1,194件	<p>実績に対する評価</p> <p>△</p>	<p>△</p>	<p>・肺がん患者への化学療法については、外来及び入院においても治療件数は昨年度を上回り、総合的な肺がん治療の強化が図れた。</p> <p>・胸腔鏡下手術件数が目標値を上回ったことは、良質な外科治療と同時に術後のQOLを極力落とさない低侵襲外科治療をより多くの患者に実現できた。</p> <p>課題</p> <p>・肺がん治療には総合的アプローチが必要であり、医師、看護師、コメディカル等の多職種による包括的診療チームをより一層強化していく必要がある。</p> <p>・肺がん患者が増加している現状を踏まえると、呼吸器外科医師等の増員を図り、今後ともQOLを極力落とさない低侵襲外科治療をより多くの患者に実現できるような体制を整備する必要がある。</p>
		[胸腔鏡下手術の実績と目標値]																					
平成20年度実績	平成22年度目標値																						
288件	317件																						
[胸腔鏡下手術の実績]																							
平成21年度	平成22年度																						
290件	326件																						
[化学療法件数の実績]																							
平成21年度	平成22年度																						
1,030件	1,194件																						

小項目 2 2 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

オ 循環器呼吸器病センター
循環器・呼吸器疾患の専門病院として、心疾患治療及び肺がん治療等の充実に努めること。
また、結核医療を継続的に実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>・多剤耐性結核対策等の総合的な結核医療を継続的に実施する。</p>	<p>・多剤耐性結核対策等の総合的な結核医療を実施する。</p>	<p>・全国的な結核患者の高齢化に伴い、当センターでも半数以上が70歳以上であり、介護を必要とする患者が増えているため、退院後にDOTS（直接服薬確認短期治療法）を行う支援者を決めてから退院することとしている。 家族や職場同僚の協力が得られない場合には、月1回地域の保健師や行政福祉担当者との会議を開催し、保健所やかかりつけ薬局、地域のクリニック等が支援者となるよう調整している。</p> <p>・結核病床を有する県内の病院では、平成17年以降、病床の縮小が見られ、当センターと同規模の病院が閉院するなど、結核医療を取り巻く環境は、厳しい状況にある中で、県立病院の社会的使命として結核医療を継続して実施している。 現在、横浜市の結核病棟は当センター以外には少なく神奈川県全域から排菌陽性患者を受け入れている状況である。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>結核医療においては、治療脱落者が少なく多剤耐性結核の出現が少ないことや、退院時の直接服薬確認を行える支援者の決定のために保健所等の地域との連携に努めた。</p>	△	△	<p>退院後の生活支援にあたっては、保健所や老人保健施設との連携も積極的に進めることが望まれる。</p>
			<p>課題</p> <p>ベッドの回転率を高める運用をしていること、また、患者の高齢化により介護に要する負担が一般病棟に比べても高いことから、看護師の負担軽減を図る必要がある。 さらに、今後、結核医療を継続していくためには、患者の年齢や介護度に見合った看護師の確保が必要である。</p>			

[延患者数の推移]（下段は1日当たり）	
平成21年度	平成22年度
15,925人 (43.6人)	14,136人 (38.7人)

[多剤耐性結核患者の推移]	
平成21年度	平成22年度
2人	2人

小項目 2 3 業務実績及び評価

<評価の大項目>

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

- 1 質の高い医療の提供
 - (2) 医療機器・施設整備の推進

中期
目標

(2) 医療機器・施設整備の推進

医療機器については、県民の医療ニーズ、医療技術の進展に応えるため、費用対効果等を総合的に勘案して計画的に更新、整備に努めること。
また、病院施設については、老朽化の状況や求められる機能を踏まえ、今後担うべき診療機能にふさわしい整備を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
ア 医療機器整備の推進 県民の医療ニーズ、医療技術の進展に応えるため、計画的に3次元照射が可能な放射線治療装置、全身用コンピュータ断層撮影装置等の医療機器を整備する。	ア 医療機器整備の推進 ・高額医療機器について、足柄上病院における全身用コンピュータ断層撮影装置整備をはじめとした計画的な整備、更新を行う。 ・通常の医療機器について、計画的な整備により老朽化した機器を更新する。	【高額医療機器】 医療機能の確保の観点から、老朽化の著しい機器や必要性の高さに応じて順次整備・更新を行った。 [足柄上病院] 全身用コンピュータ断層撮影装置 [こども医療センター] 注射薬自動払出装置 多目的デジタルX線装置 カルテ自動検索装置 手術用顕微鏡 ホルマリンガス消毒器 [がんセンター] 全自動細胞解析システム レーザーマイクロダイセクション [循環器呼吸器病センター] 診断用ガンマカメラ 超音波診断装置 【通常医療機器】 通常の医療機器についても、耐用年数を大幅に超え老朽化している機器などを中心に計画的な整備・更新を行った。 [足柄上病院] 全自動血球計数装置など11品目 [こども医療センター] DNAマイクロアレイシステムなど144品目 [芹香病院] 全自動散薬分包機など14品目 [せりがや病院] 調剤支援システムなど12品目 [がんセンター] 血液成分分離装置など57品目 [循環器呼吸器病センター] MR I 32chコイルなど36品目	実績に対する評価 臨床部門・研究部門からの要請も踏まながら、計画に沿った整備・更新ができた。	△	△	
			課題 高度化・多様化する医療ニーズに対応するため、老朽化した医療機器の更新も含めて、整備を一層進めていく必要がある。			

小項目 2 4 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (2) 医療機器・施設整備の推進

中期目標

- ア がんセンターの総合整備の推進
- がんセンターについては、都道府県がん診療連携拠点病院の役割を果たすため、平成25年度中の診療開始を目指して、PFI事業等による総合整備を着実に推進すること。
- また、がんセンターの機能充実を図るため、平成26年度からの治療開始を目指し、重粒子線治療装置の導入を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																				
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																																			
<p>イ 施設整備の推進</p> <p>(7) がんセンター総合整備の推進</p> <p>都道府県がん診療連携拠点病院として、本県におけるがん医療の中心的な役割を担うため、平成25年度中の新病院開業・診療開始を目指して、PFI事業等による総合整備を計画的に推進する。</p> <p>また、平成26年度からの治療開始を目指して、重粒子線治療装置の導入を進める。</p>	<p>イ 施設整備の推進</p> <p>(7) がんセンター総合整備の推進</p> <p>・平成25年度中の新病院開業・診療開始を目指して、SPCとの設計協議等を進める。</p> <p>・平成26年度からの治療開始を目指して、重粒子線治療施設の整備に係る基本設計を行う。</p>	<p>【がんセンター総合整備】</p> <p>・民間活力等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律(PFI法)に基づき、神奈川メディカルサービス㈱(大林組・ニチイ学館グループが設立。以下「SPC」という。)との間で特定事業契約を締結し、総合整備事業をPFI手法で進めている。</p> <p>平成25年度中の新病院開業・診療開始を目指し、建設事業については、平成22年10月に基本設計を完了し、現在実施設計(平成23年6月完了予定)を行っている。</p> <table border="1"> <caption>【新がんセンター施設概要】</caption> <thead> <tr> <th>施設概要</th> <th>新病院</th> <th>現病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床数</td> <td>415床</td> <td>415床</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>約46,500㎡</td> <td>33,535.06㎡</td> </tr> <tr> <td>敷地面積</td> <td>約37,425㎡</td> <td>18,276.30㎡</td> </tr> <tr> <td>患者駐車場</td> <td>約300台</td> <td>206台</td> </tr> <tr> <td>手術室</td> <td>12室</td> <td>6室</td> </tr> <tr> <td>I C U</td> <td>6床</td> <td>6床</td> </tr> <tr> <td>H C U</td> <td>18床</td> <td>6床</td> </tr> <tr> <td>外来診療室</td> <td>56室</td> <td>32室</td> </tr> <tr> <td>外来治療室</td> <td>50床</td> <td>24床</td> </tr> <tr> <td>放射線治療</td> <td>リニアック4台</td> <td>リニアック2台</td> </tr> <tr> <td>放射線治療</td> <td>—</td> <td>マイクロナ1台</td> </tr> </tbody> </table> <p>・SPCとは定期的に各種会議を開催し、情報交換・意思疎通を密に行っている。設計定例分科会を43回、マネジメント総合会議を6回、医療機器・備品調達部会を3回開催した。</p> <p>・総合整備事業を周辺住民の理解を得て進めるため、平成22年5月と8月に事業計画の住民説明会を、10月から11月にかけて「横浜市中高層建築物等の建築及び開発事業に係る住環境の保全等に関する条例」等に基づく近隣住民への戸別説明を実施し、それを踏まえて平成23年2月に建設工事計画の住民説明会を行った。</p>	施設概要	新病院	現病院	病床数	415床	415床	延床面積	約46,500㎡	33,535.06㎡	敷地面積	約37,425㎡	18,276.30㎡	患者駐車場	約300台	206台	手術室	12室	6室	I C U	6床	6床	H C U	18床	6床	外来診療室	56室	32室	外来治療室	50床	24床	放射線治療	リニアック4台	リニアック2台	放射線治療	—	マイクロナ1台	<p>△</p>	<p>△</p>	
施設概要	新病院	現病院																																							
病床数	415床	415床																																							
延床面積	約46,500㎡	33,535.06㎡																																							
敷地面積	約37,425㎡	18,276.30㎡																																							
患者駐車場	約300台	206台																																							
手術室	12室	6室																																							
I C U	6床	6床																																							
H C U	18床	6床																																							
外来診療室	56室	32室																																							
外来治療室	50床	24床																																							
放射線治療	リニアック4台	リニアック2台																																							
放射線治療	—	マイクロナ1台																																							

【重粒子線治療装置】

・従来の放射線治療では効果が上がりにくいがんに対し、治療効果が期待され、かつ副作用が少ないとされる最先端の重粒子線治療装置を導入し、都道府県がん診療連携拠点病院として、県民に質の高いがん医療を提供するため整備を進めている。

・平成22年度は、重粒子線治療施設の建屋の基本設計を実施した。

【重粒子線治療装置概要】	
建築面積	2,999㎡
延床面積	6,492㎡
階数	地下2階、地上1階建て
構造	R C造、一部鉄骨造を検討
治療室数	4治療室 6治療ポート

・重粒子線治療について広く知ってもらうため、平成22年10月に医療従事者を対象とした講演会を開催した。

課題

今後、がんセンター総合整備事業と重粒子線治療施設整備事業が同時に進行するため、詳細な事業間調整が必要となる。

また、平成23年度は重粒子線治療装置の入札・契約及び当該建屋の実施設計を予定しており、装置と建屋間の設計調整及び進捗管理が課題となる。

小項目 25 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
 - (2) 医療機器・施設整備の推進

中期目標

- イ 精神医療センターの総合整備の推進
 精神医療センターについては、医療観察法等、新たな精神科医療への対応や、建築後約40年経過し老朽化が進んでいること等の課題があることから、
 芹香病院とせりがや病院の一体化を含めた総合整備計画の推進に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																					
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																				
(イ)精神医療センター総合整備の推進 医療観察法指定入院医療機関としての病棟整備をはじめ、新たな精神科医療への対応を図るため、芹香病院とせりがや病院の一体化を含めた総合整備を推進する。	(イ)精神医療センター総合整備の推進 ・医療観察法に基づく指定医療機関としての機能整備を推進するため、入院治療を実施する専門病棟の整備に係る基本・実施設計に着手する。 ・施設の老朽化や新たな精神科医療への対応を図るため、新棟建設に向けた調査設計を行う。	【医療観察法病棟】 ・精神医療センター総合整備計画に基づき、医療観察法に基づく指定医療機関としての機能整備を推進するため、入院治療を実施する専門病棟である医療観察法病棟の基本・実施設計を実施した。 また、建設予定地の建築物の除却（解体工事）を行った。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">【医療観察法病棟の概要（基本・実施設計）】</th> </tr> <tr> <td>病床数</td> <td>33床</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>約2,900㎡</td> </tr> <tr> <td>建物高</td> <td>約10m</td> </tr> <tr> <td>建物構造</td> <td>鉄筋コンクリート造 2階建</td> </tr> </table> 【新棟（新病院）】 ・施設の老朽化や新たな精神科医療への対応、さらには芹香病院とせりがや病院の統合による効率的な病院運営などを目的とした、新棟建設に向けた調査設計を実施した。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">【新棟の概要（調査設計）】</th> </tr> <tr> <td>病床数</td> <td>8病棟290床</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>約19,000㎡</td> </tr> <tr> <td>建物高</td> <td>約20m</td> </tr> <tr> <td>建物構造</td> <td>鉄筋コンクリート造 5階建</td> </tr> </table>	【医療観察法病棟の概要（基本・実施設計）】		病床数	33床	延床面積	約2,900㎡	建物高	約10m	建物構造	鉄筋コンクリート造 2階建	【新棟の概要（調査設計）】		病床数	8病棟290床	延床面積	約19,000㎡	建物高	約20m	建物構造	鉄筋コンクリート造 5階建	実績に対する評価 国や都道府県立の精神科病院はその多くが低層階であり、高階層での病院運営の例が少ない。 このため、仕様の具体的検討の参考にするため、高階層の精神科病院の視察を行うなどして、高層階における病棟の配置について、患者や職員の動線や災害対応など様々な視点から検討を行うことができた。	△	△	
			【医療観察法病棟の概要（基本・実施設計）】																							
病床数	33床																									
延床面積	約2,900㎡																									
建物高	約10m																									
建物構造	鉄筋コンクリート造 2階建																									
【新棟の概要（調査設計）】																										
病床数	8病棟290床																									
延床面積	約19,000㎡																									
建物高	約20m																									
建物構造	鉄筋コンクリート造 5階建																									
			課題 引き続き、新病院における、患者や職員の動線や災害対応など様々な視点から病棟の運営方法等について検討を行う必要がある。																							

小項目 26 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
 - (2) 医療機器・施設整備の推進

中期目標

(2) 医療機器・施設整備の推進

医療機器については、県民の医療ニーズ、医療技術の進展に応えるため、費用対効果等を総合的に勘案して計画的に更新、整備に努めること。
また、病院施設については、老朽化の状況や求められる機能を踏まえ、今後担うべき診療機能にふさわしい整備を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
(ウ) その他の施設整備の推進 老朽化の状況や求められる機能を踏まえ、担うべき診療機能にふさわしい整備を進める。	(ウ) その他の施設整備の推進 こども医療センター医療従事者公舎を新築するための実施設計に着手する。	<ul style="list-style-type: none"> ・小児専門の三次医療機関として必須の豊富な知識と高度な医療技術を有する医療スタッフの確保、及び災害時の医療機能維持を目的として、老朽化した医療従事者宿舎及び看護師宿舎の再整備に向けた調査及び設計を実施した。 ・医師宿舎について、現在居住者の無い芹が谷第二医療職員公舎を改修し、転用することの可否検討のための調査、及び実施設計を行った。 ・看護師宿舎について、現在の看護師宿舎に替わる宿舎を現・職員駐車場に新築するための調査及び基本設計を実施した。 	実績に対する評価 こども医療センターの医師宿舎及び看護師宿舎の再整備にむけた調査及び設計を計画に従い実施することができた。	△	△	
			課題 円滑な工事实施のための関係住民との調整、並びに平成24年度の完成に向けた入居者の移転計画の策定、及び新たな使用料の設定のための調整が必要となる。			

小項目 27 業務実績及び評価

<評価の大項目>

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1 質の高い医療の提供

(3) 地域医療連携の強化

中期
計画

(3) 地域医療連携の強化

地域の医療機関と適切な役割分担に基づく連携を図り、県全体として効率的な医療の提供に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																			
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																																																																																																		
<p>県全体に効率的な医療を提供するため、高度・専門医療を提供する医療機関として紹介・逆紹介を推進するとともに、地域連携クリティカルパスの充実に取り組む。</p> <table border="1"> <caption>(参考) 紹介件数実績</caption> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>4,528件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>6,772件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>397件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>240件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>4,838件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>3,613件</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>(参考) 逆紹介件数実績</caption> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>3,606件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>3,450件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>357件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>200件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>1,586件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>3,318件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成20年度	足柄上病院	4,528件	こども医療センター	6,772件	芹香病院	397件	せりがや病院	240件	がんセンター	4,838件	循環器呼吸器病センター	3,613件	病院名	平成20年度	足柄上病院	3,606件	こども医療センター	3,450件	芹香病院	357件	せりがや病院	200件	がんセンター	1,586件	循環器呼吸器病センター	3,318件	<p>各病院において、地域の医療機関との役割分担の明確化と連携の強化に取り組む、紹介・逆紹介の推進や地域連携クリティカルパスの充実を行う。</p> <table border="1"> <caption>(参考) 紹介件数実績</caption> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>4,528件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>6,772件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>397件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>240件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>4,838件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>3,613件</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>(参考) 逆紹介件数実績</caption> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>3,606件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>3,450件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>357件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>200件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>1,586件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>3,318件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成20年度	足柄上病院	4,528件	こども医療センター	6,772件	芹香病院	397件	せりがや病院	240件	がんセンター	4,838件	循環器呼吸器病センター	3,613件	病院名	平成20年度	足柄上病院	3,606件	こども医療センター	3,450件	芹香病院	357件	せりがや病院	200件	がんセンター	1,586件	循環器呼吸器病センター	3,318件	<p>・各病院で、それぞれの地域や病院の特性を踏まえ、病院の取組を記載した情報誌の発行、地域医療機関等の関係者との連絡会議の開催、CT、MRI等の高度医療機器の共同利用など、地域医療機関との連携を強化し、紹介・逆紹介率の向上に努めた。</p> <table border="1"> <caption>[紹介件数実績]</caption> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>4,772件</td> <td>4,531件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>7,177件</td> <td>7,325件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>357件</td> <td>335件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>206件</td> <td>260件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>5,205件</td> <td>5,195件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>3,502件</td> <td>3,822件</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>[逆紹介件数実績]</caption> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>4,270件</td> <td>3,610件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>3,704件</td> <td>4,061件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>298件</td> <td>352件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>246件</td> <td>211件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>1,496件</td> <td>1,746件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>3,489件</td> <td>3,279件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・各病院が実施した主な取組は次のとおりである。</p> <p>[足柄上病院]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院情報誌「かけはし」の発行 年3回：2000部/回、ホームページ掲載 ・高度医療機器の共同利用 CT 245件、MRI 130件、RI 2件 ・地域連携クリティカルパス（3疾病）の運用 糖尿病地域連携バス （足柄上病院と保健所が連携し作成） 大腿骨頸部骨折 脳卒中地域連携バス 	病院名	平成21年度	平成22年度	足柄上病院	4,772件	4,531件	こども医療センター	7,177件	7,325件	芹香病院	357件	335件	せりがや病院	206件	260件	がんセンター	5,205件	5,195件	循環器呼吸器病センター	3,502件	3,822件	病院名	平成21年度	平成22年度	足柄上病院	4,270件	3,610件	こども医療センター	3,704件	4,061件	芹香病院	298件	352件	せりがや病院	246件	211件	がんセンター	1,496件	1,746件	循環器呼吸器病センター	3,489件	3,279件	<p>・各病院とも地域医療機関との連携強化に取り組み、患者に適した医療を提供するために紹介・逆紹介を推進した。</p> <p>・がんセンターが中心となって、がん診療連携拠点病院と連携し、5大がんの共通地域連携バス及びその手順書を作成し、450施設の医療機関と連携するなど、がん医療のネットワークづくりを進めた。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p></p>
病院名	平成20年度																																																																																																							
足柄上病院	4,528件																																																																																																							
こども医療センター	6,772件																																																																																																							
芹香病院	397件																																																																																																							
せりがや病院	240件																																																																																																							
がんセンター	4,838件																																																																																																							
循環器呼吸器病センター	3,613件																																																																																																							
病院名	平成20年度																																																																																																							
足柄上病院	3,606件																																																																																																							
こども医療センター	3,450件																																																																																																							
芹香病院	357件																																																																																																							
せりがや病院	200件																																																																																																							
がんセンター	1,586件																																																																																																							
循環器呼吸器病センター	3,318件																																																																																																							
病院名	平成20年度																																																																																																							
足柄上病院	4,528件																																																																																																							
こども医療センター	6,772件																																																																																																							
芹香病院	397件																																																																																																							
せりがや病院	240件																																																																																																							
がんセンター	4,838件																																																																																																							
循環器呼吸器病センター	3,613件																																																																																																							
病院名	平成20年度																																																																																																							
足柄上病院	3,606件																																																																																																							
こども医療センター	3,450件																																																																																																							
芹香病院	357件																																																																																																							
せりがや病院	200件																																																																																																							
がんセンター	1,586件																																																																																																							
循環器呼吸器病センター	3,318件																																																																																																							
病院名	平成21年度	平成22年度																																																																																																						
足柄上病院	4,772件	4,531件																																																																																																						
こども医療センター	7,177件	7,325件																																																																																																						
芹香病院	357件	335件																																																																																																						
せりがや病院	206件	260件																																																																																																						
がんセンター	5,205件	5,195件																																																																																																						
循環器呼吸器病センター	3,502件	3,822件																																																																																																						
病院名	平成21年度	平成22年度																																																																																																						
足柄上病院	4,270件	3,610件																																																																																																						
こども医療センター	3,704件	4,061件																																																																																																						
芹香病院	298件	352件																																																																																																						
せりがや病院	246件	211件																																																																																																						
がんセンター	1,496件	1,746件																																																																																																						
循環器呼吸器病センター	3,489件	3,279件																																																																																																						

		<p>[こども医療センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域医療連携室だより」の発行 年3回：2000部/回 ・地域医療機関訪問（年3回） ・在宅支援目的の病院訪問（年4回） ・医療従事者への研修（年40回） ・地域医療支援事業運営委員会（年2回） <p>[精神医療センター]</p> <p>精神科救急の県の基幹病院として、4 県市主管や精神科救急医療情報窓口である神奈川県精神保健福祉センターとの密接な連携を行った。</p> <p>[がんセンター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5 大がんの共通地域連携パスの策定 がんセンターが中心となり、神奈川県がん診療連携協議会、地域連携クリティカルパス部会において5 大がん（胃がん、大腸がん、乳がん、肺がん、肝がん）の共通地域連携パス及び手順書を策定し、平成23年3月時点で450施設の医療機関と連携している。 ・高度医療機器の共同利用 PET-CT 6件 シンチグラム 5件 ・神奈川県立がんセンター地域医療連携推進会議（年1回） <p>[循環器呼吸器病センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療機関への医師の派遣 呼吸器・循環器内科医を派遣 ・高度医療機器の共同利用 CT 572件、MRI 266件、RI 10件 ・地域医療支援事業運営委員会（年3回） 	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>多くの患者に県立病院での治療を実施するとともに、現在、各病院が設置している様々な地域との連絡会議を通じて、引き続き地域の医療機関等との連携・強化を図る必要がある。</p>			
--	--	---	---	--	--	--

小項目 28 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
 - (4) 臨床研究の推進

中期目標

- (4) 臨床研究の推進
 高度・専門医療を担う県立病院として、調査や臨床研究を推進すること。
 また、各病院のそれぞれの機能を生かして、医薬品等の新規承認や適用拡大に寄与するため治験を推進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価													
			自己点数	評価点数	コメント													
ア 臨床研究 (7) がんセンター ・臨床研究所を有するがんセンターについては、研究部門（臨床研究所）と病院部門が連携し、がん医療の分野において、疫学調査、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究に取り組む。 ・神奈川県がん登録事業を継続実施し、協力病院の院内がん登録の整備を進め、登録情報の精度の充実に図る。 （参考）神奈川県がん登録事業の登録件数実績（平成20年度）31,714件 ・神奈川がん臨床研究・情報機構の運営を通じて、大学等の研究機関及び企業との共同研究等に取り組み、県内の医療水準の向上を図る。	ア 臨床研究 (7) がんセンター ・がん医療の分野における疫学調査、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究に取り組む。 ・協力病院の院内がん登録の整備を進める。 （参考）神奈川県がん登録事業の登録件数実績（平成20年度）31,714件 ・神奈川がん臨床研究・情報機構における腫瘍組織収集・試料提供事業を実施する。 [神奈川がん臨床研究・情報機構における腫瘍組織収集の実績と目標値] <table border="1"> <tr> <td>平成20年度実績</td> <td>平成22年度目標値</td> </tr> <tr> <td>512件</td> <td>600件</td> </tr> </table>	平成20年度実績	平成22年度目標値	512件	600件	・昭和61年設立の臨床研究所4部門が連携し、がんの基礎医学的研究から、その成果ががん診断や治療に直結するトランスレーショナルリサーチ、がんの疫学まで幅広い研究を行った。がんセンターの臨床医はもちろん、他の大学、研究所、企業との共同研究も進め、研究成果は研究論文としてまとめた。 [平成22年度論文実績] 201件(邦文 87件、英文 114件) うち臨床研究所 43件(邦文 3件、英文 40件) [平成22年度共同研究実績] 9件 うち臨床研究所 3件 ・神奈川県のがんの罹患数及び罹患率を調査するため、神奈川県悪性新生物登録事業として、県内医療機関の理解と協力を得て地域がん登録を進めた。 [神奈川県がん登録事業の登録件数実績] <table border="1"> <tr> <td>平成21年度</td> <td>平成22年度</td> </tr> <tr> <td>47,835件</td> <td>57,762件</td> </tr> </table> ・産学公の連携により、がんの臨床研究を促進し、適切ながん情報を患者さんに提供する神奈川がん臨床研究・情報機構において貴重な研究試料としての腫瘍組織の収集を行った。 [腫瘍組織収集の実績] <table border="1"> <tr> <td>平成21年度</td> <td>平成22年度</td> </tr> <tr> <td>569件</td> <td>506件</td> </tr> </table>	平成21年度	平成22年度	47,835件	57,762件	平成21年度	平成22年度	569件	506件	実績に対する評価 研究論文発表や他機関との共同研究、地域がん登録を進めるとともに、治療効果を上げ、生存率を改善する目的で術前化学療法等が導入されたことにより、抗がん剤の影響を受けていない有効な研究試料数が減少する中、これまで以上に取扱いに留意し、貴重な試料の収集に努めるなど、臨床研究を推進した。	B	B	臨床研究の目標設定については、視点や切り口をどうするか今後検討が望まれる。
		平成20年度実績	平成22年度目標値															
512件	600件																	
平成21年度	平成22年度																	
47,835件	57,762件																	
平成21年度	平成22年度																	
569件	506件																	
課題 治療効果を上げ、生存率を改善する目的で術前化学療法等が導入され、有効な研究試料数が減少する傾向にある中で、貴重な試料の収集の確保を図る必要がある。																		

小項目 29 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
 - (4) 臨床研究の推進

中期目標

- (4) 臨床研究の推進
 高度・専門医療を担う県立病院として、調査や臨床研究を推進すること。
 また、各病院のそれぞれの機能を生かして、医薬品等の新規承認や適用拡大に寄与するため治験を推進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
(イ)その他の病院における臨床研究の推進 各病院の特性を生かし、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究に取り組む。	(イ)その他の病院における臨床研究の推進 各病院の特性を生かし、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究に取り組む。	各病院の特性を生かし、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究に取り組むを行った。 [足柄上病院] ・「進行再発大腸癌に対するFOLFLRI療法の多施設共同第Ⅱ相試験」等、各診療科において論文(邦文誌4件)を発表した。 [こども医療センター] ・「ATR-X(X連鎖αサラセミア・精神遅滞)症候群の診断及び治療方法の更なる推進に関する研究」等、厚生労働省科学研究事業(35件)及び文部科学省戦略的国際科学技術推進事業「新しい無線システムの使用形態で生じる電波への妊娠女性・胎児の曝露評価モデルの開発」の主任(代表)研究者や共同研究者として、診断及び治療技術の研究・開発で実績を上げた。 [精神医療センター] ・平成22年9月より精神医療センターに臨床研究部を設置し、ニューロモデュレーション研究、依存症研究、東洋医学研究等の臨床研究の充実に努めた。 ・「気分障害に対するナビゲーションガイド下rTMSの臨床応用と脳形態変化」等、論文(著書・論文8件)や学会発表(6件)等を行った。 [循環器呼吸器病センター] 「EGFR変異陽性非小細胞肺癌に対するイレッサと化学療法の比較試験(ニューイングランドジャーナル誌掲載)」等、各診療科において論文(邦文誌11件、英文誌11件)を発表した。	実績に対する評価 各病院の特性を生かし、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究に取り組んだ。 特に、こども医療センターにおいては、難治性疾患の診断及び治療法の研究・開発に多くの医師が取り組んでおり、小児の高度・専門医療機関として、積極的な取組を進めた。	△	△	
			課題 引き続き、医療水準の向上に寄与するため、臨床研究の取組を行っていく必要がある。			

小項目 30 業務実績及び評価

<評価の大項目>	第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> 1 質の高い医療の提供 <ul style="list-style-type: none"> (4) 臨床研究の推進
-----------------------	---

中期目標	(4) 臨床研究の推進 高度・専門医療を担う県立病院として、調査や臨床研究を推進すること。 また、各病院のそれぞれの機能を生かして、医薬品等の新規承認や適用拡大に寄与するため治験を推進すること。
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																	
			自己点数	評価点数	コメント																	
イ 治験 (7) こども医療センター 厚生労働省から指定された治験拠点医療機関として、他の医療機関と連携して、小児医療の治験に積極的に取り組む。	イ 治験 (7) こども医療センター 小児治験ネットワークの拡大・強化等により、他の医療機関と連携した小児医療の治験に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 治験管理室を設置し、小児治験ネットワークの拡大・強化等により、他の医療機関と連携した小児医療の治験に取り組んでいる。 ・ 小児医療を向上させるための治験の推進を目的に、国内24施設が登録する小児治験ネットワークに参画し、登録施設間の情報共有、TV会議システムを利用した情報交換（独立行政法人国立成育医療センター他3機関）を行うこと等により、小児治験の質の向上と効率化に尽力した。 ・ 厚生労働省により実施されている治験拠点病院活性化事業の拠点医療機関として、広範囲領域の疾患や特殊・稀少症例の治験に参加したほか、医師主導治験においては全国的に中心的な役割を果たした。 ・ 契約課題数、症例数とも平成21年度と比較して大幅に増加したほか、米欧8箇国との国際共同治験が治験審査委員会で承認され、実施に向けた準備を進めている。 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; font-size: small;">[治験契約課題数及び症例数]</td> </tr> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 35%; text-align: center;">平成21年度</td> <td style="width: 35%; text-align: center;">平成22年度</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">治験契約課題数</td> <td style="text-align: center;">9件</td> <td style="text-align: center;">15件</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">治験契約症例数</td> <td style="text-align: center;">33件</td> <td style="text-align: center;">41件</td> </tr> </table>	[治験契約課題数及び症例数]				平成21年度	平成22年度	治験契約課題数	9件	15件	治験契約症例数	33件	41件	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">実績に対する評価</th> <td style="text-align: center; vertical-align: middle; font-size: 24px;">△</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle; font-size: 24px;">△</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top; padding: 2px;"> 難しい小児治験に積極的に取り組んでいることは評価できる。治験の取組に向けたインセンティブのあり方について検討が望まれる。 </td> </tr> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">課題</th> <td colspan="2" style="padding: 2px;"> 小児領域の治験は実施医療機関が限られていることから、さらなる治験契約件数の増加に向けて、治験審査委員会の効率化等、治験管理室を中心とした治験実施体制の強化が必要である。 </td> </tr> </table>	実績に対する評価	△	△	難しい小児治験に積極的に取り組んでいることは評価できる。治験の取組に向けたインセンティブのあり方について検討が望まれる。	課題	小児領域の治験は実施医療機関が限られていることから、さらなる治験契約件数の増加に向けて、治験審査委員会の効率化等、治験管理室を中心とした治験実施体制の強化が必要である。	
[治験契約課題数及び症例数]																						
	平成21年度	平成22年度																				
治験契約課題数	9件	15件																				
治験契約症例数	33件	41件																				
実績に対する評価	△	△	難しい小児治験に積極的に取り組んでいることは評価できる。治験の取組に向けたインセンティブのあり方について検討が望まれる。																			
課題	小児領域の治験は実施医療機関が限られていることから、さらなる治験契約件数の増加に向けて、治験審査委員会の効率化等、治験管理室を中心とした治験実施体制の強化が必要である。																					

小項目 3 1 業務実績及び評価

＜評価の大項目＞

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
 - (4) 臨床研究の推進

中期目標	(4) 臨床研究の推進 高度・専門医療を担う県立病院として、調査や臨床研究を推進すること。 また、各病院のそれぞれの機能を生かして、医薬品等の新規承認や適用拡大に寄与するため治験を推進すること。
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																					
			自己点数	評価点数	コメント																																					
(イ) その他の病院における治験の推進 新薬の開発等に貢献し、治療の効果及び安全性を高めるため、各病院の特性及び機能を生かして治験を推進する。	(イ) その他の病院における治験の推進 各病院の特性及び機能を生かして治験を推進する。	各病院の特性及び機能を生かした治験を推進し、治験管理体制の整備するなど、治験受託件数の増加に努めた。 [治験実施状況（平成21年度）] <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>治験受託件数</th> <th>受託研究件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>足柄上病院</td><td>12件</td><td>30件</td></tr> <tr><td>こども医療センター</td><td>9件</td><td>56件</td></tr> <tr><td>芹香病院</td><td>2件</td><td>0件</td></tr> <tr><td>がんセンター</td><td>32件</td><td>49件</td></tr> <tr><td>循環器呼吸器病センター</td><td>26件</td><td>42件</td></tr> </tbody> </table> [治験実施状況（平成22年度）] <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>治験受託件数</th> <th>受託研究件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>足柄上病院</td><td>12件</td><td>44件</td></tr> <tr><td>こども医療センター</td><td>15件</td><td>64件</td></tr> <tr><td>芹香病院</td><td>9件</td><td>0件</td></tr> <tr><td>がんセンター</td><td>37件</td><td>46件</td></tr> <tr><td>循環器呼吸器病センター</td><td>28件</td><td>46件</td></tr> </tbody> </table> [足柄上病院] 各診療科で使用成績調査等の治験受託研究を中心に実施し平成21年度対比で14件増加した。 [精神医療センター] 統合失調症患者及びうつ患者を対象とした投与試験を実施し平成21年度対比で治験受託件数が7件増加した。	病院名	治験受託件数	受託研究件数	足柄上病院	12件	30件	こども医療センター	9件	56件	芹香病院	2件	0件	がんセンター	32件	49件	循環器呼吸器病センター	26件	42件	病院名	治験受託件数	受託研究件数	足柄上病院	12件	44件	こども医療センター	15件	64件	芹香病院	9件	0件	がんセンター	37件	46件	循環器呼吸器病センター	28件	46件	実績に対する評価 全病院が治験契約件数の増加を図ることで、治療の効果及び安全性を高める医療の質の向上に寄与することができた。	Δ	Δ	コメント
病院名	治験受託件数	受託研究件数																																								
足柄上病院	12件	30件																																								
こども医療センター	9件	56件																																								
芹香病院	2件	0件																																								
がんセンター	32件	49件																																								
循環器呼吸器病センター	26件	42件																																								
病院名	治験受託件数	受託研究件数																																								
足柄上病院	12件	44件																																								
こども医療センター	15件	64件																																								
芹香病院	9件	0件																																								
がんセンター	37件	46件																																								
循環器呼吸器病センター	28件	46件																																								

		<p>[がんセンター] 治験管理室において、がんセンターの基本理念、ヘルシンキ宣言に基づく倫理的原則及び医薬品の臨床試験の実施の基準(GCP)等に基づき、治験担当医師、治験依頼者、院内各部門との連携を図り、円滑で質の高い医薬品等の治験及び臨床研究を推進した。 平成21年度対比で治験受託件数が5件増加した。</p> <p>[循環器呼吸器病センター] 治験管理室に非常勤の看護師及び事務員各1人を増員したことにより、受託契約症例数の増加につながった。また、治験管理室会議（医師、看護師、薬剤師、事務、CRCで構成）を5回開催し、院内における治験の位置づけや治験からの収益の使途など明確にすることにより、各セクションのモチベーションの向上を図った。 平成21年度対比で治験受託件数が2件、受託研究が4件増加した。</p>	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>引き続き、各病院の特性及び機能を生かして新薬等の開発等の治験を推進する。</p>			
--	--	--	--	--	--	--

小項目 3 2 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 2 安全で安心な医療の提供
- (1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備

中期目標

- 2 安全で安心な医療の提供
- 患者の理解と信頼を得た安全で安心な医療を提供するため、看護体制を整備するとともに、医療安全対策や感染症対策、災害対策等を推進すること。
- (1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備
- 県立病院が担う安全で安心な医療を支えるため、医療体制を整備するとともに、各病院の基本的な機能を踏まえた手厚い看護の実施に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>2 安全で安心な医療の提供 看護体制の整備、医療安全対策、感染症対策及び災害対策等の取組を推進し、安全で安心な医療を提供する。</p> <p>(1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備</p> <p>・安全で安心な医療を支えるため、こども医療センターにおいて感染制御室を設置する等、医療体制を整備するとともに、医療機器の整備を行う。</p> <p>・安全で安心な医療を支える手厚い看護を実施するため、がんセンター及び循環器呼吸器病センターにおいて、7対1看護基準を取得する。</p>	<p>2 安全で安心な医療の提供</p> <p>(1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備</p> <p>小児期に特異的な感染症や病院内で発生する感染の予防及び拡大防止のため、こども医療センターで感染制御室を設置し、院内感染サーベランスの実施、抗菌薬適正使用の強化等に取り組む。</p>	<p>こども医療センターに感染制御室を設置し、標準予防策推進を目的とした定期病棟ラウンド及び抗菌剤の適正使用推進に向けた病棟ラウンドを実施し、患者の療養環境の整備及び改善に向けた見直し並びに重症感染症患者に対する抗菌剤使用の監視を実施した。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>こども医療センターにおいて、感染制御室を設置して体制を整備したことにより、日々発生する感染症への対応を行い、適時適切な問題点の抽出及び課題に対する即応が可能となり、安全で安心な医療を支えるための体制整備ができた。</p>	<p>△</p>	<p>△</p>	
			<p>課題</p> <p>全国的な看護師不足の中、安全で安心な医療を支える手厚い看護（7対1看護基準の取得）を実施するため、看護師確保の取組を進める必要がある。</p>			

小項目 3 3 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 - 2 安全で安心な医療の提供
 - (2) 医療安全対策の推進

中期目標

医療事故を未然に防止し、患者の安全を守り、患者が安心して医療を受けられるよう、医療安全対策を推進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																				
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																				
<p>医療事故対応マニュアルの充実、医師、看護師等の研修の充実、医療安全会議の開催、インシデント・アクシデントレポートの活用、医療事故の公表等、総合的な医療安全対策を推進する。</p> <table border="1"> <caption>(参考) インシデント・アクシデント発生件数</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>6,574件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>773件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,347件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度	インシデント	6,574件	アクシデント	773件	計	7,347件	<p>医療事故対応マニュアルの整備、医師、看護師等の研修の充実、医療安全会議の開催、インシデント・アクシデントレポートの活用、医療事故の公表等、総合的な医療安全対策を推進する。</p> <table border="1"> <caption>(参考) インシデント・アクシデント発生件数</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>6,574件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>773件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,347件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度	インシデント	6,574件	アクシデント	773件	計	7,347件	<p>・全県立病院に医療安全推進室を設置し、専任の医療安全管理者を中心に、事故時の連絡体制や事故防止に努めるほか、「医療安全会議」、「リスクマネージャー会議」及び「安全管理研修」の開催や、事故事例の分析検討などを通じた再発防止の取組やマニュアルの見直し等医療安全対策の推進に努めた。</p> <table border="1"> <caption>安全管理に係る会議の活動状況</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">医療安全会議</th> <th colspan="2">リスクマネージャー会議</th> <th colspan="2">安全管理研修</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>12回</td> <td>2,429人</td> <td>12回</td> <td>98回</td> <td>25回</td> <td>844人</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>12回</td> <td>231人</td> <td>6回</td> <td>25回</td> <td>12回</td> <td>2,030人</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>12回</td> <td>231人</td> <td>23回</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>844人</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>12回</td> <td>231人</td> <td>11回</td> <td>9回</td> <td>9回</td> <td>231人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>12回</td> <td>1,737人</td> <td>12回</td> <td>26回</td> <td>26回</td> <td>1,737人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>12回</td> <td>539人</td> <td>11回</td> <td>29回</td> <td>29回</td> <td>539人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・医療の透明化を図り県立病院の取組を他の病院の参考としてもらうため、インシデント・アクシデントをレポートにまとめ積極的な情報公開を行うことにより、医療安全対策に努めた。 平成23年5月30日に平成22年度のインシデント・アクシデント及び医療事故防止対策の状況を公表した。</p> <table border="1"> <caption>(参考) インシデント・アクシデント発生件数</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>5,765件</td> <td>5,971件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>653件</td> <td>728件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,418件</td> <td>6,699件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	医療安全会議		リスクマネージャー会議		安全管理研修		回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	足柄上病院	12回	2,429人	12回	98回	25回	844人	こども医療センター	12回	231人	6回	25回	12回	2,030人	芹香病院	12回	231人	23回	12回	12回	844人	せりがや病院	12回	231人	11回	9回	9回	231人	がんセンター	12回	1,737人	12回	26回	26回	1,737人	循環器呼吸器病センター	12回	539人	11回	29回	29回	539人	区分	平成21年度	平成22年度	インシデント	5,765件	5,971件	アクシデント	653件	728件	計	6,418件	6,699件	<p>実績に対する評価</p> <p>重大な医療事故を防止するためには、インシデント・アクシデントレポートの報告を受け、その分析を行い対策を図ることが重要であることから、インシデント・アクシデントレポートの報告件数が増加したことは、医療事故に対する医療従事者の意識の向上が図られた結果である。</p>	<p>Λ</p>	<p>Λ</p>	
区分	平成20年度																																																																																								
インシデント	6,574件																																																																																								
アクシデント	773件																																																																																								
計	7,347件																																																																																								
区分	平成20年度																																																																																								
インシデント	6,574件																																																																																								
アクシデント	773件																																																																																								
計	7,347件																																																																																								
病院名	医療安全会議		リスクマネージャー会議		安全管理研修																																																																																				
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数																																																																																			
足柄上病院	12回	2,429人	12回	98回	25回	844人																																																																																			
こども医療センター	12回	231人	6回	25回	12回	2,030人																																																																																			
芹香病院	12回	231人	23回	12回	12回	844人																																																																																			
せりがや病院	12回	231人	11回	9回	9回	231人																																																																																			
がんセンター	12回	1,737人	12回	26回	26回	1,737人																																																																																			
循環器呼吸器病センター	12回	539人	11回	29回	29回	539人																																																																																			
区分	平成21年度	平成22年度																																																																																							
インシデント	5,765件	5,971件																																																																																							
アクシデント	653件	728件																																																																																							
計	6,418件	6,699件																																																																																							

		<p>・各病院が実施した医療安全対策の代表的な取組事例は、次のとおりである。</p> <p>[足柄上病院] ベッドサイドでの患者情報の共有化を図るため、車いす、食事禁止、誤嚥防止等の患者情報を一目で認識できる絵表示を作成し、ベッドサイドに掲示する取組を行った。</p> <p>[こども医療センター] 乳児のMRI検査時の安全対策として、磁器接触防止のため、非金属のMRI添木（シーネ）を使用するように統一した。更に、やむを得ず金属添木（シーネ）を使用する場合は色分けカバーを使用し明確にした。</p> <p>[精神医療センター 芹香病院・せりがや病院] 与薬時の事故を減少させるため、危険予知トレーニングや各セクションで立案された改善対策を実施するとともに、リスクマネージャーによる病棟ラウンドを実施した。また、医療安全フォーラムでハイリスク薬の講演を行うなど職員への周知徹底を図った。</p> <p>[がんセンター] 手術中の予想外の出血に対し、医師の応援体制と輸血部の連携が迅速に取れるよう、術中危険的出血の対応手順や出血レベルの判断基準を作成し、連携を強化した。</p> <p>[循環器呼吸器病センター] MRI撮影中の急変時に対応するため、患者の搬送、蘇生する場所の確保、救急カートに活用等について担当部署協同でシミュレーションを行い、関係者間の共通認識を図った。</p>	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>今後とも、インシデント・アクシデント報告件数が確保されるよう、医療従事者の意識向上に取組む必要がある。</p>			
--	--	---	---	--	--	--

小項目 3 4 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 2 安全で安心な医療の提供
- (3) 感染症対策の強化

中期目標

院内感染防止対策を強化するとともに、感染管理体制を充実することにより、感染症に関する取組を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価															
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント														
<p>・院内感染防止対策を強化するため、感染防止会議の開催による対策の徹底や、新型インフルエンザの発生等を踏まえた院内感染防止マニュアルの見直しに取り組む。</p> <p>・新型インフルエンザ等の診療・治療を行うため、各病院の特性及び機能を生かした感染症に関する取組を推進する。</p>	<p>・感染防止会議の開催による対策の徹底や、新型インフルエンザの発生等を踏まえた院内感染防止マニュアルの見直し等、院内感染防止対策を強化する取組を推進する。</p> <p>・新型インフルエンザ等の患者受入れに当たって、こども医療センターでは小児に特有な診療・治療を行う等、各病院の特性及び機能を生かした感染症に関する取組を推進する。</p>	<p>・院内感染を防止するため、感染防止会議や研修会の開催、さらには新型インフルエンザに対応するためマニュアル等の見直しを行った。</p> <table border="1"> <caption>[院内感染防止会議の開催実績]</caption> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>11回</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>11回</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>11回</td> </tr> </tbody> </table> <p>・各病院が実施した院内感染防止対策の取組は、次のとおりである。</p> <p>[足柄上病院] 感染症指定医療機関としての体制を強化するため、感染管理の専従看護師を配置した。 「感染症対策便り（定期10回、号外3回発行）」を発行し、職員への啓蒙を図った。</p> <p>[こども医療センター] 感染制御室を設置し、小児期に発症する感染症の持ち込み防止及び院内拡大防止に向けた早期対処、適時適切な問題点の抽出及び課題に対する即応を可能とした。（詳細は項目7参照）</p> <p>[精神医療センター] 新型インフルエンザに関しては、県内の発生状況に注意し、「持ち込まない」「持ち出さない」をスローガンに院内の標準予防策の徹底を図った。</p>	病院名	平成22年度	足柄上病院	12回	こども医療センター	11回	芹香病院	11回	せりがや病院	12回	がんセンター	12回	循環器呼吸器病センター	11回	<p>・感染防止会議の定期的開催やマニュアルの改訂、講演会の開催など、院内感染防止対策強化のための取組を推進した。</p> <p>・こども医療センターに感染制御室を設置し、体制の強化を図った。</p>	△	△	
病院名	平成22年度																			
足柄上病院	12回																			
こども医療センター	11回																			
芹香病院	11回																			
せりがや病院	12回																			
がんセンター	12回																			
循環器呼吸器病センター	11回																			

		<p>[がんセンター] 院内感染対策会議等を毎月定例開催し、各月の感染情報、手術部位感染サーベイランスの結果などの情報を共有するほか、安全・感染症対策講習会の年2回以上の参加を義務付けし、職員意識の醸成（受講率89.3%）を図った。</p> <p>[循環器呼吸器病センター] 平成22年度の新取組は、全職種対象の時間枠を設けない「安全フォーラム」を1日中開催し、マスクのフィットチェックや手指衛生チェックを実施するなど個人に適応した研修体系を実施した。 また、新型インフルエンザ対策は、フェーズ5 Aの受診時シミュレーションを関連職種で行い、課題整理とともに、対応マニュアル改正に生かした。</p>	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>今後とも、新型感染症の発生が予測されることから、引き続き、感染防止会議の開催や手指消毒習慣化の徹底など、職員の意識啓発を図るための研修会等を開催し、感染症の防止に努めていく必要がある。</p>			
--	--	---	--	--	--	--

小項目 35 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 2 安全で安心な医療の提供
 (4) 災害対策の推進

中期目標

災害発生等における災害医療拠点病院及び地域における災害時医療を担う病院としての役割を果たすこと。
 また、災害発生等に備えて、医薬品等を備蓄するとともに、定期的に防災訓練等を実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																				
			自己点数	評価点数	コメント																				
<p>・災害発生等に備えて、医薬品等を備蓄するとともに、定期的に防災訓練等を実施する。また、大規模災害発生時に病院機能を確保、維持するため、建物の耐震化整備に努める。</p> <p>(参考) 防災訓練実施回数及び防災訓練参加者数の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災訓練実施回数</td> <td>14回</td> </tr> <tr> <td>防災訓練参加者数</td> <td>2,630人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・災害時には、神奈川県地域防災計画の個別計画である神奈川県医療救護計画に基づき、県立病院救護班を編成し、被災地等に派遣する。特に、災害医療拠点病院である足柄上病院は、災害時の患者の受入れ等、県西地域医療圏における災害医療救護の中心的役割を担う。</p>	区分	平成20年度	防災訓練実施回数	14回	防災訓練参加者数	2,630人	<p>・各病院で、医薬品・災害用医療資材等を備蓄するとともに、定期的に防災訓練等を実施する。</p> <p>(参考) 防災訓練実施回数及び防災訓練参加者数の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災訓練実施回数</td> <td>14回</td> </tr> <tr> <td>防災訓練参加者数</td> <td>2,630人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・施設の老朽化が進み耐震化が求められている精神医療センターにおいて、総合整備に向けた調査設計を実施する。</p> <p>・災害時には、神奈川県医療救護計画に基づく県立病院救護班の編成、被災地等への派遣を実施する。</p> <p>・足柄上病院は、県西地域医療圏における災害医療拠点病院として、災害時に患者の受入れ等を行う。</p>	区分	平成20年度	防災訓練実施回数	14回	防災訓練参加者数	2,630人	<p>・各病院で、医薬品・災害用医療資材等を備蓄するとともに、定期的に防災訓練等を実施するなどの災害対策を行った。</p> <p>その結果、東日本大震災発生時においても、患者の安全を優先させた病院機能を維持するとともに、交通機関等運転中止による帰宅困難者を院内に避難させるなど、患者・家族の安全安心に即した適正な対応を実施した。</p> <p>また、計画停電実施時においては、政府、東京電力の対応方法が定まらない状況ではあったが、診察時間や検査、手術実施日等の計画変更を行うことで、病院機能を維持し、患者への影響を最小限にすることに努めた。</p> <p>[防災訓練実施回数及び防災訓練参加者数の実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災訓練実施回数</td> <td>13回</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>防災訓練参加者数</td> <td>2,232人</td> <td>2,316人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・精神医療センター総合整備においては、十分な耐震性を考慮した調査設計を実施した。(詳細は項目25参照)</p> <p>・足柄上病院では、平成22年11月に東名高速道路で多重事故が発生したとの想定で負傷者のトリアージ訓練を行うなど、災害拠点病院として大規模災害を想定した訓練を実施した。</p> <p>・東日本大震災の被災地(岩手県大槌町、福島県小名浜)に医師、看護師等を派遣し、現地での医療救護活動(心のケアチーム)並びに湘南丸による被災者(計画的避難地域となった福祉施設に入所する障害者の避難)搬送及び受入れを行うなど、医療・福祉機関として被災地への支援を実施した。</p>	区分	平成21年度	平成22年度	防災訓練実施回数	13回	12回	防災訓練参加者数	2,232人	2,316人	<p>実績に対する評価</p> <p>各病院で、医薬品・災害用医療資材等を備蓄するとともに、定期的に防災訓練等を実施していたことから、東日本大震災発生時及びその後の計画停電等の困難な社会状況においても、病院機能を維持することができた。</p> <p>また、東日本大震災の被災地に医師、看護師等医療救護活動のため派遣するなど県立病院としての役割を果たした。</p> <p>△</p> <p>△</p>	<p>課題</p> <p>東日本大震災発生時及び被災地での医療救護活動での経験を踏まえ、神奈川県内で災害が発生した場合に起こりうる様々な課題を想定し、災害発生時に病院機能を確保、維持するための防災対策について再検討する。</p>
区分	平成20年度																								
防災訓練実施回数	14回																								
防災訓練参加者数	2,630人																								
区分	平成20年度																								
防災訓練実施回数	14回																								
防災訓練参加者数	2,630人																								
区分	平成21年度	平成22年度																							
防災訓練実施回数	13回	12回																							
防災訓練参加者数	2,232人	2,316人																							

小項目 3 6 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 - 2 安全で安心な医療の提供
 - (5) 情報セキュリティの強化

中期目標

個人情報の保護を徹底するため、情報システムにおけるセキュリティ対策を強化すること。
また、職員に対して情報セキュリティの必要性を周知徹底する等、個人レベルでの情報セキュリティのために必要な取組を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムにおける個人情報漏えいを防ぐため、ネットワーク、電子メールサーバー等の情報基盤の整備に併せて、ウイルスチェック、不正アクセス対策を講じる等、セキュリティの向上を図る。 ・職員からの個人情報漏えいを防ぐため、情報セキュリティ研修の実施等、個人レベルでの情報セキュリティの意識を啓発する取組を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムにおける個人情報漏えいを防ぐため、ウイルス対策機能、迷惑メールフィルター機能を有する電子メールサーバを導入する。 ・個人レベルでの情報セキュリティの意識を高めるため、情報セキュリティポリシーを制定するとともに、情報セキュリティの意識啓発を図る冊子を配付する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県立病院機構の設立にあわせ、ウイルス対策機能や迷惑メールフィルター機能を有する電子メールサーバサービスを導入するとともに、セキュリティ対策の基本方針と対策基準について定めた情報セキュリティポリシーを制定した。 ・情報セキュリティに関する啓発用冊子を作成し、情報共有用のグループウェアに登録するとともに、臨床業務が主のためパソコンが配備されていない医師、看護師等の職員向けには、セクションごとに印刷物を配付、回覧し、情報セキュリティポリシーの考え方と日常業務におけるセキュリティ対応策について周知した。 	<p style="text-align: center;">実績に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウイルス対策機能等を有する電子メールサーバサービスの導入により、電子メール利用におけるセキュリティの確保を図った。 ・情報セキュリティポリシーを制定し、啓発用冊子を作成、配付したことにより、セキュリティ対策の基本的な考え方とともに、日常業務における対処方法について職員に周知することができた。 	Λ	Λ	
			課題			
			<p>情報セキュリティに関する基本的な考え方を周知するとともに、日常業務においてどのような点に注意しなければならないかについて理解を深めてもらうため、職員に対し情報セキュリティ研修を充実する必要がある。</p>			

小項目 3 7 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 3 患者の視点に立った病院運営
- (1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

中期目標	<p>患者の視点に立った病院運営を進めるため、患者自らが理解して適切な医療を受けられるよう、分かりやすい説明、相談、情報提供等を行うこと。</p> <p>また、患者等の意見を反映して、より利用しやすい病院運営を目指すこと。</p> <p>(1)患者にとって分かりやすい医療の提供</p> <p>患者・家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるような取組を進めること。</p> <p>また、患者や家族が安心して医療を受けられるよう、医療、福祉の多様な相談に対応すること。</p> <p>さらに、患者満足度を調査し、意見の反映に努め、患者の視点に立った病院運営を目指すこと。</p>
------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																													
			自己点数	評価点数	コメント																																													
<p>3 患者の視点に立った病院運営</p> <p>患者との相互理解を深める取組や病院、医療情報の提供、患者の利便性の向上を図る取組を推進し、患者が自らの治療に主体的に関わることができるような患者の視点に立った病院運営を進める。</p> <p>(1)患者にとって分かりやすい医療の提供</p> <p>・患者、家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるよう、患者への十分な説明と同意による医療（インフォームドコンセント）を推進するとともに、クリティカルパスの適用範囲を拡大する。</p> <p>(参考) クリティカルパスの作成件数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>48件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>23件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>18件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成20年度	足柄上病院	48件	こども医療センター	22件	芹香病院	1件	がんセンター	23件	循環器呼吸器病センター	18件	<p>3 患者の視点に立った病院運営</p> <p>(1)患者にとって分かりやすい医療の提供</p> <p>・診療計画書を利用して治療内容を説明する等、患者への十分な説明と同意による医療（インフォームドコンセント）を推進する。</p> <p>・各県立病院におけるクリティカルパスの適用状況の調査分析を踏まえて、クリティカルパス適用拡大を図る。</p> <p>(参考) クリティカルパスの作成件数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>48件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>23件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>18件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成20年度	足柄上病院	48件	こども医療センター	22件	芹香病院	1件	がんセンター	23件	循環器呼吸器病センター	18件	<p>・各病院において、患者の負担軽減や計画的で分かりやすい医療を提供するため、クリティカルパス等を利用して患者へのインフォームドコンセントの実施に努めた。</p> <p>・クリティカルパス検討会議を定期開催し、新規作成や見直しを行うことで、エビデンスに基づく医療の質を確保する取組を実施した。</p> <p>[クリティカルパスの作成件数実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>65件</td> <td>66件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>28件</td> <td>28件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>1件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>0件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>42件</td> <td>50件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>23件</td> <td>18件</td> </tr> </tbody> </table> <p>[足柄上病院]</p> <p>検討会議等を毎月開催し、平成22年度に「市中肺炎」など新規採用パスを10件増加させた（一部使用中止を含み。年度末は66件）。</p> <p>[こども医療センター]</p> <p>平成22年度の新規作成パスはないが「1日入院そけいヘルニア」など28件のクリティカルパスを運用した。</p>	病院名	平成21年度	平成22年度	足柄上病院	65件	66件	こども医療センター	28件	28件	芹香病院	1件	3件	せりがや病院	0件	2件	がんセンター	42件	50件	循環器呼吸器病センター	23件	18件	△	△	<p>実績に対する評価</p> <p>クリティカルパスを利用し、患者が受ける治療、検査の具体的内容やその経時的流れを可視化する説明を行い、患者、家族等へのインフォームドコンセントを推進した。</p> <p>特に、精神医療センターにおいては、新規クリティカルパスの作成に努めた。</p>
病院名	平成20年度																																																	
足柄上病院	48件																																																	
こども医療センター	22件																																																	
芹香病院	1件																																																	
がんセンター	23件																																																	
循環器呼吸器病センター	18件																																																	
病院名	平成20年度																																																	
足柄上病院	48件																																																	
こども医療センター	22件																																																	
芹香病院	1件																																																	
がんセンター	23件																																																	
循環器呼吸器病センター	18件																																																	
病院名	平成21年度	平成22年度																																																
足柄上病院	65件	66件																																																
こども医療センター	28件	28件																																																
芹香病院	1件	3件																																																
せりがや病院	0件	2件																																																
がんセンター	42件	50件																																																
循環器呼吸器病センター	23件	18件																																																

		<p>[芹香病院] 平成22年度にリワークプログラムパス、抑うつパスを新たに作成した。抑うつパスは平成23年度から適用する予定である。</p> <p>[せりがや病院] 平成22年度にアルコール依存外来パス、薬物依存外来パスを新たに作成した。平成23年度から適用する予定である。</p> <p>[がんセンター] 平成22年度にクリティカルパスを新規10件、見直し35件、廃止3件（使用薬剤の変更、重複による）の承認を行い、年度末に50件となった。</p> <p>[循環器呼吸器病センター] 平成22年度はクリティカルパスを新規2件（高周波カテーテル心筋焼灼術（心房細動）、呼吸器外科ICU一泊）を作成するとともに、使用状況調査に基づくパスの種類の整理・統合（登録済パスの改訂4件、廃止3件）を行い、年度末に18件となった。</p>	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="1344 100 1680 167"></th> </tr> <tr> <td data-bbox="1344 167 1680 869"> <p style="text-align: center;">課題</p> <p>引き続き患者が安心して治療、検査が受けられるよう、バリエーション（クリティカルパスの内容から外れた処置等）の内容の評価をしながら、クリティカルパスの修正・見直しを実施する。</p> </td> </tr> </table>		<p style="text-align: center;">課題</p> <p>引き続き患者が安心して治療、検査が受けられるよう、バリエーション（クリティカルパスの内容から外れた処置等）の内容の評価をしながら、クリティカルパスの修正・見直しを実施する。</p>			
<p style="text-align: center;">課題</p> <p>引き続き患者が安心して治療、検査が受けられるよう、バリエーション（クリティカルパスの内容から外れた処置等）の内容の評価をしながら、クリティカルパスの修正・見直しを実施する。</p>								

小項目 38 業務実績及び評価

＜評価の大項目＞

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 3 患者の視点に立った病院運営
- (1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

中期目標

患者の視点に立った病院運営を進めるため、患者自らが理解して適切な医療を受けられるよう、分かりやすい説明、相談、情報提供等を行うこと。

また、患者等の意見を反映して、より利用しやすい病院運営を目指すこと。

(1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

患者・家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるような取組を進めること。

また、患者や家族が安心して医療を受けられるよう、医療、福祉の多様な相談に対応すること。

さらに、患者満足度を調査し、意見の反映に努め、患者の視点に立った病院運営を目指すこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																						
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																					
<p>・患者、家族が安心して医療を受けられるよう、地域医療連携室等で医療、福祉についての多様な相談を実施する。また、がんセンターにおいては、都道府県がん診療連携拠点病院として、県民に対するがんの電話相談を充実する。</p> <p>(参考) がんセンターにおける電話相談件数実績(平成20年度) 6, 109件</p>	<p>・地域医療連携室等で、経済的問題や家庭環境に係る医療福祉相談等、多様な相談を実施する。</p> <p>・がんセンター相談支援室及び神奈川がん臨床研究・情報機構情報センターにおいて、がんに関する医療・福祉等の幅広い電話相談に応じる。</p> <p>(参考) がんセンターにおける電話相談件数実績(平成20年度) 6, 109件</p>	<p>各病院に設置した地域医療連携室等で、患者、家族が安心して医療を受けられるよう、患者、家族が抱える経済的・心理的な問題や家庭環境に係る医療福祉相談等、多様な相談を実施した。</p> <p>なお、各病院における特徴的な取組は次のとおりである。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <caption>[相談件数実績(地域医療連携室等への診療相談)]</caption> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">病院名</th> <th style="width: 15%;">平成21年度</th> <th style="width: 15%;">平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>1,904件</td> <td>1,833件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>26,447件</td> <td>24,130件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>4,461件</td> <td>4,593件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>361件</td> <td>270件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>9,058件</td> <td>9,825件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>3,924件</td> <td>8,284件</td> </tr> </tbody> </table> <p>[足柄上病院] 地域医療連携室、アドボカシー室(患者相談室)において、専門相談員が患者・家族との対面相談を行い、問題解決のための活動を実施した。</p> <p>[こども医療センター] ・病棟担当の配置や相談窓口への職員の常置を行ったほか、虐待疑い等における児童相談所や保健所、市町村等との連携に取り組む等、直接、間接の両面から幅広く患者・家族の支援を実施した。</p> <p>・県・市町村の母子保健担当保健師との連絡会を開催しているほか、関係機関職員が来院したり、地域(児童相談所、学校等)に職員が出向いて、ケースカンファレンスを実施した。</p>	病院名	平成21年度	平成22年度	足柄上病院	1,904件	1,833件	こども医療センター	26,447件	24,130件	芹香病院	4,461件	4,593件	せりがや病院	361件	270件	がんセンター	9,058件	9,825件	循環器呼吸器病センター	3,924件	8,284件	<p>実績に対する評価</p> <p>各病院の実情に応じて、相談担当職員の増員等による相談体制の強化、虐待疑い等における児童相談所や保健所、市町村等との地域の関係機関との連携に取り組む等、直接、間接の両面から幅広く患者・家族の支援を実施した。</p>	<p>△</p>	<p>△</p>	<p>コメント</p>
病院名	平成21年度	平成22年度																									
足柄上病院	1,904件	1,833件																									
こども医療センター	26,447件	24,130件																									
芹香病院	4,461件	4,593件																									
せりがや病院	361件	270件																									
がんセンター	9,058件	9,825件																									
循環器呼吸器病センター	3,924件	8,284件																									

[精神医療センター]

福祉職（心理）を増員するなど患者の相談・地域連携を行うとともに、救急、ストレス、医療観察制度への対応を行った。

[がんセンター]

・医療相談支援室及び神奈川がん臨床研究・情報機構情報センターにおいて、看護師あるいはソーシャルワーカーが、がんについてや、経済的問題、家庭環境に係る医療福祉問題等多様で幅広い相談に応じた。

[がんセンターにおける電話相談件数の実績]

区分	平成21年度	平成22年度
がん臨床研修・情報機構への相談	2,190件	2,127件
医療相談支援室への相談	3,204件	4,752件
計	5,394件	6,879件

・新たに、隔日でソーシャルワーカーによる個別面談形式の相談（サテライト相談）を平成22年7月から実施し、590件の相談を受けた。

[循環器呼吸器病センター]

地域連携室に看護師、事務職を増員したことにより、医療相談をはじめとする各種の相談件数の増加に対応した。

課題

・今後とも患者や家族が安心して医療が受けられるよう、相談体制の強化を進めていく必要がある。

・こども医療センター、精神医療センターなど、在宅での医療支援が必要な患者に対するケアの充実に向けて、地域医療機関、訪問看護ステーション等の関係機関との連携をより一層強化する必要がある。

小項目 39 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 3 患者の視点に立った病院運営
- (1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

中期目標

患者の視点に立った病院運営を進めるため、患者自らが理解して適切な医療を受けられるよう、分かりやすい説明、相談、情報提供等を行うこと。
 また、患者等の意見を反映して、より利用しやすい病院運営を目指すこと。
 (1) 患者にとって分かりやすい医療の提供
 患者・家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるような取組を進めること。
 また、患者や家族が安心して医療を受けられるよう、医療、福祉の多様な相談に対応すること。
 さらに、患者満足度を調査し、意見の反映に努め、患者の視点に立った病院運営を目指すこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																													
			自己点数	評価点数	コメント																																													
<p>・高度・専門医療を提供する医療機関として、セカンドオピニオンに積極的に取り組む。</p> <table border="1"> <caption>(参考) セカンドオピニオン件数実績</caption> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>40件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>789件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>48件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成20年度	足柄上病院	3件	こども医療センター	40件	芹香病院	5件	がんセンター	789件	循環器呼吸器病センター	48件	<p>・患者がより良い治療方法を自己決定できるように、ホームページによる案内に努める等、セカンドオピニオンを推進する。</p> <table border="1"> <caption>(参考) セカンドオピニオン件数実績</caption> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>40件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>789件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>48件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成20年度	足柄上病院	3件	こども医療センター	40件	芹香病院	5件	がんセンター	789件	循環器呼吸器病センター	48件	<p>・各病院において、セカンドオピニオンを推進するため、実施方法をホームページや院内掲示、地域医療機関等への案内資料の送付により、その周知に努めた。</p> <p>・各病院のセカンドオピニオンの実施件数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <caption>[セカンドオピニオン件数実績]</caption> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>2件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>41件</td> <td>39件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>4件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>0件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>744件</td> <td>686件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>51件</td> <td>43件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成21年度	平成22年度	足柄上病院	2件	1件	こども医療センター	41件	39件	芹香病院	4件	2件	せりがや病院	0件	1件	がんセンター	744件	686件	循環器呼吸器病センター	51件	43件	<p>実績に対する評価</p> <p>患者がより良い治療方法を自己決定できるように、ホームページによる案内、他医療機関への案内書類の送付等により、セカンドオピニオンを推進した。</p> <p style="text-align: center;">△</p>	<p style="text-align: center;">△</p>	
	病院名	平成20年度																																																
足柄上病院	3件																																																	
こども医療センター	40件																																																	
芹香病院	5件																																																	
がんセンター	789件																																																	
循環器呼吸器病センター	48件																																																	
病院名	平成20年度																																																	
足柄上病院	3件																																																	
こども医療センター	40件																																																	
芹香病院	5件																																																	
がんセンター	789件																																																	
循環器呼吸器病センター	48件																																																	
病院名	平成21年度	平成22年度																																																
足柄上病院	2件	1件																																																
こども医療センター	41件	39件																																																
芹香病院	4件	2件																																																
せりがや病院	0件	1件																																																
がんセンター	744件	686件																																																
循環器呼吸器病センター	51件	43件																																																
			<p>課題</p> <p>引き続き、高度・専門医療を提供する医療機関として、セカンドオピニオンに積極的に取り組んでいく必要がある。</p>																																															

小項目 40 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 3 患者の視点に立った病院運営
- (1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

中期目標

患者の視点に立った病院運営を進めるため、患者自らが理解して適切な医療を受けられるよう、分かりやすい説明、相談、情報提供等を行うこと。

また、患者等の意見を反映して、より利用しやすい病院運営を目指すこと。

(1)患者にとって分かりやすい医療の提供

患者・家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるような取組を進めること。また、患者や家族が安心して医療を受けられるよう、医療、福祉の多様な相談に対応すること。

さらに、患者満足度を調査し、意見の反映に努め、患者の視点に立った病院運営を目指すこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																													
			自己点数	評価点数	コメント																																													
<p>・県民の意見を反映し患者の視点に立った病院運営を実現するため、患者満足度調査等を実施する。</p>	<p>・県民の意見を反映し、患者の視点に立った病院運営を実現するため、各病院で患者満足度調査等を実施する。</p>	<p>・各病院において、病院運営や患者サービスに関する現状把握と改善に活用するため、入院及び外来の患者（家族）を対象に患者満足度調査を実施した。各病院の病院全体の満足度を測る調査項目の結果及び患者サービス向上の取組は次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">[平成22年度満足度調査結果]</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">入院</th> <th colspan="2">外来</th> </tr> <tr> <th>回答数</th> <th>満足度</th> <th>回答数</th> <th>満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>125件</td> <td>77.6%</td> <td>450件</td> <td>35.2%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>216件</td> <td>79.0%</td> <td>1,180件</td> <td>53.3%</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>136件</td> <td>65.5%</td> <td>272件</td> <td>62.0%</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>44件</td> <td>66.5%</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>285件</td> <td>91.5%</td> <td>787件</td> <td>83.1%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>136件</td> <td>88.2%</td> <td>215件</td> <td>85.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>「回答数」は調査票を配付し有効な回答として回収した数をいう。 「満足度」は「満足・やや満足」と回答した割合をいう。</p> <p>[足柄上病院] ・診療予約枠の見直し、入浴設備等の清掃徹底等</p> <p>[こども医療センター] ・待合ロビー等にインターネット情報提供システム ・院内コンビニエンスストアの設置</p> <p>[精神医療センター 芹香病院・せりがや病院] ・患者アンケートを取り入れた食事メニューの提供 ・デビットカード導入による会計支払方法の多様化 ・病棟デイルーム等に大型テレビの導入</p> <p>[がんセンター] ・個室の内装改善、待合用のテレビの増設 ・ソーシャルワーカーの個別面談コーナーの新設 ・デビットカード導入による会計支払方法の多様化</p> <p>[循環器呼吸器病センター] ・院内コンビニエンスストアの設置、ATM導入 ・デビットカード導入による会計支払方法の多様化</p>	[平成22年度満足度調査結果]					病院名	入院		外来		回答数	満足度	回答数	満足度	足柄上病院	125件	77.6%	450件	35.2%	こども医療センター	216件	79.0%	1,180件	53.3%	芹香病院	136件	65.5%	272件	62.0%	せりがや病院	44件	66.5%	—	—	がんセンター	285件	91.5%	787件	83.1%	循環器呼吸器病センター	136件	88.2%	215件	85.6%	<p>実績に対する評価</p> <p>患者満足度調査を実施し、病院に対する患者の評価や病院の課題抽出に努めた。 患者ニーズを踏まえ、様々なサービス向上に向けた取組を実施した。</p>	Λ	Λ	<p>満足度調査については病院の機能に応じて様々な項目が考えられるが、基本的事項に関する項目を共通化することにより各病院の比較検討が可能となるよう方法や手順の検討が望まれる。</p>
			[平成22年度満足度調査結果]																																															
病院名	入院		外来																																															
	回答数	満足度	回答数	満足度																																														
足柄上病院	125件	77.6%	450件	35.2%																																														
こども医療センター	216件	79.0%	1,180件	53.3%																																														
芹香病院	136件	65.5%	272件	62.0%																																														
せりがや病院	44件	66.5%	—	—																																														
がんセンター	285件	91.5%	787件	83.1%																																														
循環器呼吸器病センター	136件	88.2%	215件	85.6%																																														
<p>課題</p> <p>患者の視点に立ったより良い病院の運営改善に繋がるように患者満足度調査を継続して実施していく必要がある。</p>																																																		

小項目 4 1 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 3 患者の視点に立った病院運営
 (2) 県民への病院・医療情報提供の充実

中期目標

疾患・予防等に関する知識や県立病院が行う治療の方法と実績等を、広く県民に、分かりやすく情報発信し、普及・啓発を行うこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																						
			自己点数	評価点数	コメント																						
疾患・予防等に関する知識について、公開講座等を通じて、広く県民に普及、啓発を行うとともに、県立病院が行う治療の方法と実績やがんセンターにおける都道府県がん診療連携拠点病院としての情報等について、ホームページや広報誌等を通じて、情報発信を行う。	・公開講座等を通じて、広く県民に疾患・予防等に関する知識の普及、啓発を行うとともに、県立病院が行う治療の方法や実績、がんの診断や治療に関する情報等を、ホームページや広報誌等を通じて提供する。 ・情報の提供においては、より見やすいホームページへ改善する等、県民が必要とする情報を得やすくするための工夫を図る。	・各病院に蓄積された疾患・予防等に関する知識や県立病院が行う治療方法と実績等を公開講座を通じて、広く県民に分かりやすく情報発信し、普及・啓発を行った。また、足柄上病院、せりがや病院、がんセンターにおいては、広報誌を発行した。 各病院が実施した主な公開講座等は次のとおりである。 [足柄上病院] 「心肺蘇生術、AEDの使い方」等延べ参加者80人 [こども医療センター] 「こどもの健やかな発達のために」等延べ参加者2,263人 [精神医療センター 芹香病院・せりがや病院共催] 「地域に広げる看護の心(うつ病・依存症)」等延べ参加者479人 [がんセンター] 「受けてますか、がん検診」等延べ参加者903人 [循環器呼吸器病センター] 「たばこと肺の怖い話」等延べ参加者780人 [公開講座の実績] <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>12回</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>10回</td> <td>9回</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>3回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>2回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>4回</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>10回</td> <td>10回</td> </tr> </tbody> </table> ・より親しみやすく、利用しやすい内容・デザイン、また、病院の魅力を積極的にアピールすることができることを基本コンセプトに、ホームページのリニューアルを行った。	病院名	平成21年度	平成22年度	足柄上病院	12回	12回	こども医療センター	10回	9回	芹香病院	3回	4回	せりがや病院	2回	1回	がんセンター	4回	6回	循環器呼吸器病センター	10回	10回	実績に対する評価 ・公開講座の開催を通じて、県民・県内医療機関に対して、県立病院が行う治療の方法や実績等に関する情報提供を行った。 ・ホームページの改善については、迅速な情報更新を行い、県立病院の魅力をもっと積極的に・効果的にアピールする内容・デザインに変更することを基本コンセプトに実施した。	△	△	
			病院名	平成21年度	平成22年度																						
			足柄上病院	12回	12回																						
こども医療センター	10回	9回																									
芹香病院	3回	4回																									
せりがや病院	2回	1回																									
がんセンター	4回	6回																									
循環器呼吸器病センター	10回	10回																									
			課題 ・引き続き、県民が必要とする疾患・予防等に関する医療情報の内容の把握に努め、その提供方法を検討するとともに、迅速で正確な情報発信に努める必要がある。 ・県立病院の取組をより有効にPRできる仕組みを検討する必要がある。																								

小項目 4 2 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 3 患者の視点に立った病院運営
- (3) 患者の利便性の向上

中期目標

患者が治療に要する時間を短くして「時間の利益」を得られるよう、診療、検査、支払等の待ち時間の短縮や在院日数の適正化に努め、待機患者の減少を図ること。
また、診療費の支払方法の多様化等、患者の利便性の向上に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																
<p>・診療、検査、支払等の待ち時間を短縮するための取組や、在院日数の適正化により待機患者の減少を図る取組を実施し、患者が治療に要する時間を短くして「時間の利益」を得られるようにする。</p>	<p>・各病院において待ち時間の実態調査を実施し、待ち時間の短縮を図るための改善に取り組む。</p>	<p>各病院において、待ち時間の短縮を図るとともに、待ち時間の有効活用についても取り組みを図った。</p> <p>○ 診療待ち時間対策 [足柄上病院] ・外来のプースの増設 ・診療予約枠の見直し</p> <p>[こども医療センター] ・自己負担額のない患者の会計の別処理 ・院内情報サービスシステムの導入</p> <p>[芹香病院] ・オーダーリングシステムの導入</p> <p>[がんセンター] ・朝の採血室の体制見直し 8:00～ 看護師 2人 ⇒ 3人 8:30～ 看護師 4-5人 ⇒ 5-7人 ・外来患者優先で採血結果を出す運用に変更</p> <p>[循環器呼吸器病センター] ・院内情報サービスシステムの導入</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">[平成22年度外来診療待ち時間実績]</th> </tr> <tr> <th>病院名</th> <th>各科平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>90分程度</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>35分程度</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>35分程度</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>30分程度</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>50分程度</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>45分程度</td> </tr> </tbody> </table>	[平成22年度外来診療待ち時間実績]		病院名	各科平均	足柄上病院	90分程度	こども医療センター	35分程度	芹香病院	35分程度	せりがや病院	30分程度	がんセンター	50分程度	循環器呼吸器病センター	45分程度	<p>実績に対する評価</p> <p>・オーダーリングシステムなどのシステム導入により、待ち時間短縮の取り組みを進めてきた。また、運用面においても、採血検査待ち時間の短縮に向け、採血室や検査室の運用体制等の見直しを行い、一定の成果を上げることができた。</p> <p>・さらに、待合室におけるビデオ放映なども行い、患者が待ち時間を有効に過ごせる工夫をした。</p>	Λ	Λ	待ち時間の短縮について具体的な数値目標の検討が望まれる。
			[平成22年度外来診療待ち時間実績]																			
病院名	各科平均																					
足柄上病院	90分程度																					
こども医療センター	35分程度																					
芹香病院	35分程度																					
せりがや病院	30分程度																					
がんセンター	50分程度																					
循環器呼吸器病センター	45分程度																					
<p>課題</p> <p>今後も待ち時間短縮に向けた取組を継続して行っていく必要がある。</p>																						

小項目 4 3 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 - 3 患者の視点に立った病院運営
 - (3) 患者の利便性の向上

中期目標

患者が治療に要する時間を短くして「時間の利益」を得られるよう、診療、検査、支払等の待ち時間の短縮や在院日数の適正化に努め、待機患者の減少を図ること。
また、診療費の支払方法の多様化等、患者の利便性の向上に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																					
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																																																																				
・休日・時間外における支払窓口の開設やコンビニエンスストアやクレジットカードでの支払等に取り組む。	・支払方法の選択範囲を広げるとともに、支払待ち時間を短縮して患者等が診療終了後速やかに病院から帰れるようにするため、デビットカードサービスの利用拡大、コンビニエンスストア収納、休日・時間外における支払窓口の開設等により、支払方法の多様化を図る。	クレジットカード、デビットカード、コンビニエンスストア収納の利用状況は以下のとおりとなっており、いずれも増加している。 [クレジットカード、デビットカード利用状況] <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">クレジットカード</th> <th colspan="2">デビットカード</th> </tr> <tr> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>3,284件</td> <td>4,886件</td> <td>0件</td> <td>18件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>7,595件</td> <td>8,926件</td> <td>0件</td> <td>118件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>1,310件</td> <td>2,068件</td> <td>0件</td> <td>175件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>509件</td> <td>247件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>19,115件</td> <td>25,692件</td> <td>0件</td> <td>1,202件</td> </tr> <tr> <td>循呼センター</td> <td>6,612件</td> <td>9,708件</td> <td>0件</td> <td>52件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>38,425件</td> <td>51,527件</td> <td>0件</td> <td>1,567件</td> </tr> </tbody> </table> [コンビニ収納利用状況] <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>999件</td> <td>960件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>143件</td> <td>81件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>162件</td> <td>977件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>0件</td> <td>211件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>76件</td> <td>152件</td> </tr> <tr> <td>循呼センター</td> <td>311件</td> <td>276件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,691件</td> <td>2,657件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	クレジットカード		デビットカード		平成21年度	平成22年度	平成21年度	平成22年度	足柄上病院	3,284件	4,886件	0件	18件	こども医療センター	7,595件	8,926件	0件	118件	芹香病院	1,310件	2,068件	0件	175件	せりがや病院	509件	247件	0件	2件	がんセンター	19,115件	25,692件	0件	1,202件	循呼センター	6,612件	9,708件	0件	52件	合計	38,425件	51,527件	0件	1,567件	病院名	平成21年度	平成22年度	足柄上病院	999件	960件	こども医療センター	143件	81件	芹香病院	162件	977件	せりがや病院	0件	211件	がんセンター	76件	152件	循呼センター	311件	276件	合計	1,691件	2,657件	実績に対する評価 クレジットカード、コンビニエンスストア収納の取扱件数はいずれも増加しており、患者のニーズに対応できている。 また、全病院でデビットカードによる支払いも開始し、支払利便性の向上を図ることができた。	A	A	支払待ち時間の実態調査と数値目標の検討が望まれる。
				病院名	クレジットカード		デビットカード																																																																			
平成21年度	平成22年度	平成21年度	平成22年度																																																																							
足柄上病院	3,284件	4,886件	0件	18件																																																																						
こども医療センター	7,595件	8,926件	0件	118件																																																																						
芹香病院	1,310件	2,068件	0件	175件																																																																						
せりがや病院	509件	247件	0件	2件																																																																						
がんセンター	19,115件	25,692件	0件	1,202件																																																																						
循呼センター	6,612件	9,708件	0件	52件																																																																						
合計	38,425件	51,527件	0件	1,567件																																																																						
病院名	平成21年度	平成22年度																																																																								
足柄上病院	999件	960件																																																																								
こども医療センター	143件	81件																																																																								
芹香病院	162件	977件																																																																								
せりがや病院	0件	211件																																																																								
がんセンター	76件	152件																																																																								
循呼センター	311件	276件																																																																								
合計	1,691件	2,657件																																																																								
課題 会計システムが導入されていないこども医療センターの児童福祉施設に係る診療費について、即日会計ができるようにしていく必要がある。																																																																										

小項目 4 4 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 3 患者の視点に立った病院運営
- (4) ボランティア・NPOとの協働

中期目標

様々な県民ニーズに対応したボランティア活動を行うボランティアやNPOの協力を得て、療養の支援を図る取組を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>・ボランティアの協力の下、県立病院の案内業務や患者のレクリエーション活動等を実施する。</p> <p>・子ども医療センター入院患者の家族滞在施設の運営を支援</p>	<p>・ボランティアの協力を得て、県立病院の案内業務や患者のレクリエーション活動、療養の支援等を実施する。</p> <p>・通訳ボランティアによる外国籍患者への支援を進める。</p> <p>・子ども医療センター入院患者の家族滞在施設（リラのいえ）について、利用希望者等からの利用相談や紹介等を通じて運営の支援を行う。</p>	<p>・ボランティア団体等の活動と連携・協力を得て、院内案内業務、患者介助等やコンサート等のレクリエーション活動等、患者の療養の支援を図る取組を推進した。</p> <p>[足柄上病院] ランパス、杉の子会、松田絵手紙の会、音楽ボランティア会、受付介助ボランティア会との連携・協力による各種活動や療養支援が行われた。</p> <p>[こども医療センター] 患者のQOLの向上や通院に対する恐怖感の軽減のため、25団体のボランティア団体の協力により、各種活動や療養支援が行われた。</p> <p>[がんセンター] ランパス、患者会コスモスの会、理容ボランティアスヴェンソンらのボランティアの協力を得て、院内案内業務や患者のレクリエーション活動、療養の支援等を実施した。</p> <p>[循環器呼吸器病センター] ボランティア会「ランパス」の協力により、院内の案内やレクリエーション活動を行い患者の療養生活を支援した。</p> <p>・日本語を母語としない外国籍患者と、診療等での適切かつ円滑な意思疎通を図るため、各病院において「NPO法人多言語社会リソースかながわ」と医療通訳サービス契約を行い、10言語に対応するなど外国籍患者に対する診療の支援を行った。</p> <p>・その他の特色ある取組みとして、子ども医療センター入院患者の家族滞在施設（リラのいえ）について、利用希望者等からの利用相談や紹介等を通じて、長期入院患者の家族に対する支援を行った。</p> <p>利用家族数：303、利用者数：4,028人 延べ宿泊数：1,986日</p>	<p>様々なボランティアの人々に病院運営の活動に参画してもらい、患者・家族の精神的な支え、療養生活の環境改善の向上の一助となることができた。</p>	Λ	Λ	
			<p>課題</p> <p>・引き続き、患者の療養の支援を図る取組を進めるため、ボランティア活動と病院運営との効果的な連携方法を検討していく必要がある。</p> <p>・子ども医療センター入院患者の家族滞在施設（リラのいえ）について、継続的に支援していく必要がある。</p>			

小項目 4 5 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 4 医療人材の確保と育成
- (1) 医師の確保と育成

中期目標

医療を提供する基盤である医師や看護師等の医療従事者の確保に努めるとともに、人材の育成に向けた研修等の充実に努めること。

(1) 医師の確保と育成

質の高い医療を継続的に提供するため、優秀な医師の確保に努めること。

また、初期臨床研修医及び後期臨床研修医等を積極的に受け入れ、次代を担う若い医師を育成するとともに、医師の専門性の向上に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>4 医療人材の確保と育成</p> <p>神奈川県における保健医療施策として求められる質の高い医療を継続的に提供するため、医師や看護師等の医療従事者の確保と育成に努めるとともに、勤務環境の改善や資質向上の機会の拡大等、医療従事者を支援する取組を推進する。</p> <p>(1) 医師の確保と育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広く一般から優秀な人材を確保するため、医師の公募を行う。 ・初期臨床研修医、後期臨床研修医を積極的に受け入れるため、教育研修体制を強化するとともに、後期臨床研修医が研修に専念できるよう、待遇面等について充実に図る。 	<p>4 医療人材の確保と育成</p> <p>(1) 医師の確保と育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携協力のある大学医学部の医局ローテーションを医師確保の基礎としつつ、公募や医師の人的ネットワークも活用して、優秀な人材を確保する。 ・後期臨床研修医が研修に専念できるようにするため、その身分を研修プログラムに沿った期間を任期とする常勤職員として、報酬額を相応とする等、待遇面を充実する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・後期臨床研修医を除く正規の医師の必要数289人のところ、現員数が276人で、充足率は95.5%である。足柄上病院産科など医師確保が全国的に困難である特定の診療科を除き県立病院における医師の充足率は高い。 ・医師確保については、連携協力のある大学医学部からの医局ローテーションを基礎としながらも、それ以外の手法（公募や人的ネットワークの活用）による採用も積極的に行い、平成22年度には、全病院で5人採用した。 ・後期臨床研修医については、平成22年度から研修プログラムに沿った期間を任期とし、週40時間勤務の常勤の研修医制度として従来の制度を見直すとともに、報酬面についても、充実に図った。このため、後期臨床研修医については、足柄上病院2人（前年度比2人増）、こども医療センター43人（同8人増）、がんセンター28人（同4人増）、循環器呼吸器病センター8人（同3人増）の合計81人が確保でき、平成21年度に比べて17人増となった。 	<p>実績に対する評価</p> <p>独立行政法人化への移行に伴い、医療環境の変化等に着実に対応できる人員配置が可能となり、柔軟かつ弾力的に医師を確保できる環境が整いつつある。</p>	△	△	後期臨床研修医を常勤の医師として待遇の充実に図り、医師の確保につなげたことは評価できる。
			<p>課題</p> <p>後期臨床研修医については、他の医療機関との競争性や医療の高度専門化に対応できる人材の育成に向けて、更にカリキュラムを充実させる必要がある。</p>			

小項目 4 6 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 4 医療人材の確保と育成
 (2) 看護師の確保と育成

中期目標
 質の高い看護を継続的に提供するため、看護師の確保に努めるとともに、
 看護師の能力を向上させるための研修を実施し、専門性を向上させるため、専門看護師及び認定看護師の資格取得を促進すること。
 また、看護学生の実習を積極的に受け入れ、看護師の育成に寄与すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																															
			自己点数	評価点数	コメント																																																															
<p>・質の高い看護を継続的に提供するため、看護師養成機関との連携や就職説明会の開催、採用試験の複数回実施等により、看護師の確保を図る。</p> <p>・看護師の看護教育に関する能力等を向上させるため、キャリアパスによるキャリア開発とその支援を行うための研修を実施するとともに、専門性を向上させるため、専門看護師及び認定看護師を、その資格が活用できる職場に積極的に配置する。</p> <p>・看護専門学校等と看護学生の受入れについて連携を図るとともに、より一層の看護学生の实習受入れに努める。</p> <table border="1"> <caption>(参考) 看護実習受入実績</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保健福祉大学</td> <td>123人</td> </tr> <tr> <td>よこはま看護専門学校</td> <td>397人</td> </tr> <tr> <td>平塚看護専門学校</td> <td>159人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>830人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,509人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度	保健福祉大学	123人	よこはま看護専門学校	397人	平塚看護専門学校	159人	その他	830人	計	1,509人	<p>・県立看護専門学校や保健福祉大学と連携して学生向け説明会を実施し、受験を促進するとともに、採用試験の複数回実施等柔軟な採用行為を行うことにより、看護師確保に向けて受験者総数の拡大を図る。</p> <p>・専門看護手当の創設、専門看護師あるいは認定看護師の資格を有する看護師を積極的に活用する等、職員の専門能力を称揚する取組により、職員の専門能力向上を促進する。</p> <p>・看護専門学校等との連携の下に、看護学生の实習受入れ拡大を図る。</p> <table border="1"> <caption>(参考) 看護実習受入実績</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保健福祉大学</td> <td>123人</td> </tr> <tr> <td>よこはま看護専門学校</td> <td>397人</td> </tr> <tr> <td>平塚看護専門学校</td> <td>159人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>830人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,509人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度	保健福祉大学	123人	よこはま看護専門学校	397人	平塚看護専門学校	159人	その他	830人	計	1,509人	<p>・学生向けの説明会を計20回実施（県内の養成校7回、県外の養成校2回、企業等が実施する説明会2回）。平成21年度実績18回より2回多く実施した。</p> <p>・全病院を対象とする採用試験を8回実施。こども医療センターなど特定の病院への配属を目指す配属確定型試験を11回実施。計19回の採用試験を実施することにより、平成22年4月1日に採用した看護師数141人より、36人多い177人を平成23年4月1日に採用した。</p> <p>・平成22年度に専門看護師及び認定看護師の有資格者を対象とする専門看護手当を創設し、待遇の改善を図った。</p> <p>・平成22年度には、新たに専門看護師3人などを輩出し、県立病院機構全体で専門看護師等の有資格者は、合計72人（前年度比2人増）となった。</p> <table border="1"> <caption>[専門看護師等の有資格者数実績]</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門看護師</td> <td>7人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者</td> <td>3人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>認定看護師</td> <td>55人</td> <td>53人</td> </tr> <tr> <td>精神科認定看護師</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>70人</td> <td>72人</td> </tr> </tbody> </table> <p>[看護実習受入実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保健福祉大学</td> <td>132人</td> <td>139人</td> </tr> <tr> <td>衛生看護専門学校</td> <td>250人</td> <td>241人</td> </tr> <tr> <td>よこはま看護専門学校</td> <td>537人</td> <td>501人</td> </tr> <tr> <td>平塚看護専門学校</td> <td>102人</td> <td>93人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>648人</td> <td>682人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,669人</td> <td>1,656人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成21年度	平成22年度	専門看護師	7人	10人	認定看護管理者	3人	4人	認定看護師	55人	53人	精神科認定看護師	5人	5人	計	70人	72人	区分	平成21年度	平成22年度	保健福祉大学	132人	139人	衛生看護専門学校	250人	241人	よこはま看護専門学校	537人	501人	平塚看護専門学校	102人	93人	その他	648人	682人	計	1,669人	1,656人	<p>実績に対する評価</p> <p>全国的な看護師不足の中であるものの、学生向けの説明会を精力的に開催するとともに、採用試験の回数拡大等により、平成21年度に比べて多くの看護師を確保できた。</p> <p>△</p>	<p>△</p>	<p>専門看護師及び認定看護師の有資格者を、専門医療やチーム医療に積極的に取り入れ、看護師のキャリアアップにつなげることが望まれる。</p> <p>また、7対1看護体制の確立のために必要な看護師の人数及び現状の充足率、今後の採用計画に基いた目標の設定、採用状況や現人員数、退職者（新卒看護師の離職率など）を示した業務実績報告の検討が望まれる。</p>
	区分	平成20年度																																																																		
保健福祉大学	123人																																																																			
よこはま看護専門学校	397人																																																																			
平塚看護専門学校	159人																																																																			
その他	830人																																																																			
計	1,509人																																																																			
区分	平成20年度																																																																			
保健福祉大学	123人																																																																			
よこはま看護専門学校	397人																																																																			
平塚看護専門学校	159人																																																																			
その他	830人																																																																			
計	1,509人																																																																			
区分	平成21年度	平成22年度																																																																		
専門看護師	7人	10人																																																																		
認定看護管理者	3人	4人																																																																		
認定看護師	55人	53人																																																																		
精神科認定看護師	5人	5人																																																																		
計	70人	72人																																																																		
区分	平成21年度	平成22年度																																																																		
保健福祉大学	132人	139人																																																																		
衛生看護専門学校	250人	241人																																																																		
よこはま看護専門学校	537人	501人																																																																		
平塚看護専門学校	102人	93人																																																																		
その他	648人	682人																																																																		
計	1,669人	1,656人																																																																		
<p>課題</p> <p>がんセンター及び循環器呼吸器病センターにおける7対1看護体制の確立、精神医療センターにおける医療観察法病棟の開設等への対応に向け、更に看護師の確保が必要である。</p>																																																																				

小項目 4 7 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 4 医療人材の確保と育成
 (3) コメディカル職員等の確保と研修の充実

中期目標

コメディカル職員等について、必要な職員の確保に努めるとともに、研修の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																													
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																												
<p>・必要な職員を迅速に確保するため、各病院の状況に応じて、採用時期や試験方法等を適切に設定して試験を実施する。</p> <p>・コメディカル職員の資質の向上を図るため、病院の実態や職員の能力・経験等を踏まえた研修を効果的に実施するとともに、実施に当たっては、県機関、学会等が実施する外部研修を活用する。</p>	<p>・採用時期を適切に設定する等、各病院の状況に応じて必要な職員を迅速に確保する。</p> <p>・職員の資質の向上を図るため、病院の実態や職員の能力・経験等を踏まえた研修を実施する。</p> <p>・研修の実施に当たっては、内部研修だけでなく、研修に要するコスト、時間、人的リソース、ノウハウ等を踏まえて、県機関、学会等が実施する外部研修を活用する。</p>	<p>・福祉職や管理栄養士などのコメディカル職員については、年齢が30歳までの一般採用区分と年齢にとらわれず病院経験などの医療経験5年以上の者を対象とする経験者採用区分を設けるとともに、栄養管理科長についても公募し、医療ニーズに対応した、職員を採用することができた。</p> <table border="1"> <caption>[主なコメディカル職種採用状況]</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>一般区分</th> <th>経験者区分</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉職</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>-</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>5人</td> <td>4人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>6人</td> <td>0人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>栄養管理科長</td> <td>-</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・福祉職については、職場の実態に即し、相談・心理・介護の分野ごとの試験区分を設け、業務に応じた職員の確保に努めた。</p> <p>・心理の受験資格については、臨床心理士資格を取得できる標準的な年齢(25、26歳)を考慮し、受験資格年齢を4歳引き上げ34歳とした。</p> <p>・コメディカル職員の資質の向上を図るため、県機関、各種学会等が実施する外部研修に多くのコメディカル職員を参加させ、専門知識の習得等の資質の向上に努めた。</p> <p>[足柄上病院] 学会や各専門分野の研究会、研修会等に延べ17人の職員を参加させた。</p>		一般区分	経験者区分	計	福祉職	3人	3人	6人	管理栄養士	-	2人	2人	薬剤師	5人	4人	9人	診療放射線技師	2人	1人	3人	臨床検査技師	6人	0人	6人	栄養管理科長	-	1人	1人	<p>実績に対する評価</p>	△	△	
	一般区分	経験者区分	計																															
福祉職	3人	3人	6人																															
管理栄養士	-	2人	2人																															
薬剤師	5人	4人	9人																															
診療放射線技師	2人	1人	3人																															
臨床検査技師	6人	0人	6人																															
栄養管理科長	-	1人	1人																															

[こども医療センター]
学会や各専門分野の研究会、研修会等に延べ481人の職員を参加させた。

[精神医療センター 芹香病院・せりがや病院]
病院内外のソーシャルワーク活動をマネジメントするために必要な知識・技術を習得するための研修等に延べ52人の職員を参加させた。

[がんセンター]
各専門分野の学会、講習会等に延べ27人の職員を参加させた。

[循環器呼吸器病センター]
学会、外部研修や県外病院等の研修に延べ97人の職員を参加させた。

課題

コメディカル職員については、より幅広く人材を確保するため、経験者採用区分の受験資格（医療経験5年以上）の拡大が求められている。

小項目 4 8 業務実績及び評価

＜評価の大項目＞

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 - 4 医療人材の確保と育成
 - (4) 勤務環境の改善

中期目標

看護師等を安定的に確保するため、ワークライフバランスをとりやすい多様な勤務形態を検討・実施する等、医療従事者が安心して働くことができるよう勤務環境の改善に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者が安心して子育てし、働き続けることができるよう、院内24時間保育を実施する。 ・医療従事者宿舎の整備、民間アパートの借上げ等、各病院の実情に応じた取組により医療従事者公舎の充実を図る。 ・ワークライフバランスを取りやすい多様な勤務形態の導入を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者が安心して子育てし、働き続けることができるよう、院内24時間保育を実施する。 ・老朽化の著しいこども医療センターの医療従事者公舎について、建替えに向けた実施設計に着手する。 ・ワークライフバランスを取りやすい多様な勤務形態の導入を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早出勤務や遅出勤務者、さらには準夜勤務、深夜勤務のある看護師などの医療従事者の勤務形態に合わせた保育を実施するため、保育時間の延長、週2日程度の24時間保育を実施した。 ・老朽化したこども医療センターの医療従事者宿舎及び看護師宿舎の再整備に向けた調査及び設計を実施した。 ・仕事と生活の調和の実現を目指した、「子育てを支え合う職員行動計画」を策定し、ワークライフバランスに向けた行動計画の推進に取り組んだ。 ・職員が主体的に勤務時間を選択できるよう、時差出勤制度の拡大に向けた取組みを定めた。 	<p style="text-align: center;">実績に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師等の医療従事者の確保、定着に向け、働きながら子育てが出来る環境を整備した。 ・仕事と生活の調和が取り入れられるよう行動計画を策定し、推進に向けた取組を実施した。 ・時差出勤制度の拡大に向けて検討を行った。 <p style="text-align: center;">課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24時間保育の実施回数等について、利用状況を踏まえ今後検討していく必要がある。 ・多様な勤務形態の導入に向け、更なる検討が必要である。 	△	△	<p>保育時間の延長や24時間保育の実施については評価できる。</p> <p>ワークライフバランスを取りやすい勤務形態の導入に向けては、短時間正規職員や夜間専従の正規職員などの導入の検討が望まれる。</p>

小項目 4 9 業務実績及び評価

<評価の大項目>

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

1 業務運営体制の確立

中期目標	<p>地方独立行政法人として、自律的、機動的な病院経営を行うための業務運営体制を整備するとともに、地方独立行政法人制度の利点を生かして、より一層効率的・効果的な業務運営を行い、経営改善を図ること。</p> <p>1 業務運営体制の確立</p> <p>病院経営に関する意思決定を主体的に行い、迅速に実行に移すため、理事会及び本部事務局の体制を整備するとともに、効率的・効果的な業務運営を行うための体制を整備すること。</p> <p>また、病院の経営企画機能を強化し、中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる取組の実現に向けた体制を整備すること。</p>
-------------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>地方独立行政法人として、自律的、機動的な病院経営を行うための業務運営体制を確立する。また、人事・予算等を弾力的に運用できる地方独立行政法人制度の利点を生かして、効率的・効果的な業務運営を行うとともに、収益を確保し、費用を削減するための経営改善の取組を推進する。</p> <p>1 業務運営体制の確立</p> <p>効率的・効果的な業務運営を行うため、病院経営に関する意思決定を、理事長、副理事長及び理事で構成する理事会で行うとともに、各病院に適切な権限移譲を行い、病院の長の経営責任を明確にする。また、病院の経営企画機能を強化し、中期目標等に掲げる取組の実現に向けた体制を整備するため、本部事務局及び各病院に経営企画機能を担う部署を設置する。さらに、中期目標等に掲げる組織目標の達成に向けて、各病院が自律的に取り組むため、年度計画に病院ごとの収支計画等の経営目標を明示する。</p>	<p>1 業務運営体制の確立</p> <p>・理事会による法人の運営体制の下に、医療機能の充実及び経営改善に取り組むため、実際の業務運営の主体である各病院に適切な権限移譲を行い、病院の長の経営責任を明確にするとともに、各病院に、経営企画機能を担う経営企画部門を設置する。</p> <p>・法人全体の運営や病院間の調整を図り、中期目標等に掲げる取組を着実に達成するため、事務部門として本部事務局に、総務企画、人事給与、財務の各部門を設置する。</p>	<p>・理事会は、毎月1回、監事出席のもとでの開催を定例化（平成22年度は14回開催）し、活発な議論を行うことにより、業務の適切な執行を確保するとともに、各病院の諸課題への対応の検討を行った。</p> <p>・必要な予算・人事の権限を総長等に委譲し、各病院が自律的・機動的に病院運営が行える体制を整備した。</p> <p>＜委譲した予算・人事の権限＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算の節間流用権限 ・機種選定会議、委託契約等の契約締結権 ・病院独自の採用試験の実施 <p>・全理事、各病院の長並びに本部事務局及び各病院の経営企画機能の統括を担う職員等で構成する経営会議（平成22年度は8回開催）を設置し、各病院の診療及び財務データの月次報告書を作成、報告することで経営状況の共有化を図るとともに、病院業務の効率化等、経営改善に向けた取組を推進し、中期目標等に掲げる取組を着実に進める体制を整えた。</p> <p>・各病院に経営企画部門を設置し、職員体制を充実した。</p> <p>・本部事務局に総務系業務と企画系業務を総括する機能を有する総務企画課、人事・給与等職員管理を行う職員課、予算など財務系業務と経理、経営分析部門を行う財務課を設置し、法人全体の運営や病院間の調整を図る機能を整備した。</p>	実績に対する評価	△	△	
			課題			

小項目 50 業務実績及び評価

＜評価の大項目＞

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 - 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 - (1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標	ア 人事・予算の弾力的運用 人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用し、中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応し、医師等の配置を弾力的に行うことや、予算を効率的・効果的に運用すること。
-------------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
ア 人事・予算の弾力的運用 中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応するため、人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用した取組を行う。 (7)診療体制・人員配置の弾力的運用 医療ニーズの質の変化や患者動向に迅速に対応するため、職員の採用や医師等スタッフの配置を弾力的に行うとともに、契約職員や非常勤職員等、常勤以外の雇用形態を含む多様な専門職の活用等を行う。	ア 人事・予算の弾力的運用 中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応するため、人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用した取組を行う。 (7)診療体制・人員配置の弾力的運用 正規職員の採用や医師等医療スタッフの配置を弾力的に行うとともに、契約職員や非常勤職員等、正規職員以外の雇用形態を含む多様な医療専門職の活用等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・がんセンターの重粒子線治療装置の導入に向けた体制の充実や医療観察法病棟の開設（精神医療センター）など医療ニーズや医療環境の変化等に的確に対応するとともに、円滑な病院運営を行うために、正規職員を394人（医師153人（後期臨床研修医含む）、看護師173人、コメディカル職種51人、事務17人）を採用した。 ・雇用期間の定めのある職員については、業務の内容等に応じ、契約職員、非常勤職員、短期非常勤職員、再雇用職員を多様な勤務形態で雇用し、医療専門職員による的確な医療を行った。 	実績に対する評価 医療ニーズや医療環境等に的確に対応できるような医師や看護師などの医療スタッフ等を弾力的に配置するとともに、正規職員以外の職員を効率的に活用する体制を整えつつある。 課題 医療ニーズや医療環境等の変化に即応できるような採用方法を引き続き検討する必要がある。	Δ	Δ	

小項目 5 1 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標

ア 人事・予算の弾力的運用
 人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用し、中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応し、医師等の配置を弾力的に行うことや、予算を効率的・効果的に運用すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>ア 人事・予算の弾力的運用 中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応するため、人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用した取組を行う。</p> <p>(イ) 予算執行の弾力化 中期計画の枠の中で、予算科目間、節間及び年度間で弾力的に運用できる会計制度を活用した予算執行を行う。</p>	<p>ア 人事・予算の弾力的運用 中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応するため、人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用した取組を行う。</p> <p>(イ) 予算執行の弾力化 中期計画の枠の中で、予算科目間、節間及び年度間で弾力的に運用できる会計制度を活用し、医療ニーズに迅速に対応した予算執行を行う。</p>	<p>・予算の流用について、各病院の置かれた医療ニーズに迅速に対応していくため、総長・所長等の権限を拡大し、節間流用の承認を各病院単位で行えるようにした。</p> <p>・また、長期継続契約ができる対象業務を清掃、保守等の院内管理業務等に広げたことにより、安定的なサービス提供が受けることができた。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>権限を拡大することにより、責任を明確にし、予算の範囲内で効率的に課題に迅速に対応した病院運営ができた。</p>	△	△	
			<p>課題</p> <p>各病院の執行状況だけではなく、県立病院機構全体の執行状況を踏まえた流用のあり方を検討していく必要がある。</p>			

小項目 5 2 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標

- イ 事務職員の専門性の向上
 県立病院機構で独自に事務職員を採用することにより、病院特有の事務に精通した職員を確保及び育成し、専門性の向上を図ること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>・診療報酬事務等、病院特有の事務や病院経営に関する知識・経験を有する人材等の採用を計画的に進める。</p> <p>・経営企画機能を強化し、高度な専門性を有する事務職員を育成するため、診療報酬事務等の専門研修を実施する。</p>	<p>・法人採用職員を本部事務局及び各病院に配置する。</p> <p>・業務を通じて専門的な知識や能力を高めるとともに、診療報酬事務等に係る専門的な研修を実施する。</p>	<p>・平成22年4月1日付けで17人の事務職員を採用し、本部事務局、各病院（総務課、経営企画課、医事課）に配置した。</p> <p>・事務職員の病院経営に係る専門性を向上させるため、新規採用職員を対象に地方独立行政法人制度、診療報酬制度などの基礎知識を習得するための研修や、会計事務の担当職員を対象に地方独立行政法人の会計基準等の知識を習得するための研修、さらには、院内各セクション（医師、看護師、コメディカル、事務等多職種）の実務の中核となる中堅職員（概ね10年以上の業務経験）を対象に県立病院の経営分析の方法等を習得するための研修を実施した。</p> <p>・病院経営に知識・経験を有する人材確保に向け、平成23年度採用に向けて幹部候補及び経験者枠での採用試験を実施した。</p>	実績に対する評価		△	△
			△			
			課題			
		<p>・本部事務局及び各病院へのバランスのとれた配属、人事ローテーションなどを工夫するとともに、専門性の高い職員を育成していく必要がある。</p> <p>・病院事務職としての経験年数、専門性を考慮した研修カリキュラムの整備を行う必要がある。</p>				

小項目 5 3 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標	ウ 職員の経営参画意識の向上 職員の経営参画意識を醸成し、職員一人ひとりの「問題の認識と共有」による業務改善を推進するための取組を行うこと。
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
職員の経営参画意識を醸成し、職員一人ひとりの「問題の認識と共有」による業務改善を推進するため、表彰制度の実施や、医療機器の整備等に要する予算を病院の経営実績を反映して傾斜配分する等経営改善の成果を病院に還元する仕組みを整備する。	職員表彰制度や、病院の経営実績を反映した医療機器整備等予算の傾斜配分等、経営改善の成果を病院に還元する仕組みを整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の経営参画意識を醸成するよう、質の高い医療の実現をテーマとした業務改善等について、理事長表彰を実施した。 35件（25団体及び個人10人） ・経営改善の成果を病院に還元するため、今後の法人経営に支障がない範囲で「剰余金の使途」として積立てを行った。なお、平成22年度の病院への配分は、経常利益と、医業収益の改善額とを考慮して配分することとした。 	実績に対する評価 職員の経営意識を醸成するために、理事長表彰を実施した。	△	△	職員の経営参画意識の醸成に向け、今後表彰による効果や表彰以外の視点などについても検討が望まれる。また、業務改善のみでなく、経営参画を促すような方法を別の視点で考えることが望まれる。
			課題 職員の経営意識が更に高められるよう、表彰制度をより充実させる必要がある。			

小項目 5 4 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標

- エ ITの活用による効率的な医療提供の推進
 ITを活用することにより医療の情報化の推進に努めるとともに、症例データの蓄積と迅速な分析を可能とすることによって、医療内容の標準化を図り、効率的な医療の提供に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
医療情報の共有化を進め、集積したデータを分析し、その結果を医療の質の向上や標準化に活用するため、トータルオーダーリングシステムを適切に更新するとともに、電子カルテシステムや画像情報ネットワークシステム（PACS）を導入する。	循環器呼吸器病センターにおいて、画像情報ネットワークシステム（PACS）を導入する。	循環器呼吸器病センターにおいては、平成23年1月から画像情報ネットワークシステム（PACS）を導入した。 さらに、こども医療センターにおいても、導入準備を進めている。 [循環器呼吸器病センター] 平成23年1月 画像情報ネットワークシステム（PACS）稼働 平成23年3月 フィルムレス運用、フィルム大袋の外来への貸出を廃止 [こども医療センター] トータルオーダーリングシステムの更新（平成24年1月予定）及び電子カルテシステムや画像情報ネットワークシステムの導入（平成24年6月予定）のため、「電子カルテシステム導入の基本方針」を策定するとともに、契約業者の選定を実施した。	実績に対する評価 PACS導入に伴い、オーダーリングシステム端末（又は専用端末）が配置された場所であれば、いつでも検査画像の参照が可能となり、各種検査項目の実施状況も一目でわかるようになり、業務効率が格段に向上した。 また、フィルムレス化によるフィルム使用枚数の削減や診察時フィルム搬送業務が軽減され、費用削減が達成できた。	△	△	
			課題 がんセンターでは、平成24年1月から電子カルテ運用開始に向けた院内調整のほか、新病院における医療情報システムの整備計画策定など、移転に向けた準備を着実に進めていく必要がある。			

小項目 5 5 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (1) 効率的・効果的な業務運営

- 中期目標
 オ 効率的な事務執行の推進
 効率的な事務執行を推進するため、契約事務の簡素化や多様な契約形態をとるとともに、物品調達を集約化を図ること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価							
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント						
<p>・契約事務の簡素化、複数年契約の適用範囲の拡大等、多様な契約形態の活用、物品調達の集約化により、効率的な事務執行を推進する。</p> <p>・売買、請負等の契約については、情報の公開と競争による選定を基本とし、透明性・公平性を確保する。</p> <p>・委託契約については、最低制限価格の適用業務の拡大により、提供される委託業務の質を確保する。</p>	<p>医薬品・検査試薬・診療材料について、共同あっせん調達を実施する。</p>	<p>・県立病院で共通して使用する医薬品・検査試薬・診療材料については、スケールメリットによる廉価購入を目的として、本部で年間使用数量をとりまとめ、共同購入を実施した。</p> <p>[共同購入実績 (定価からの値引率)]</p> <table border="1"> <tr> <td>薬 品</td> <td>11.7%</td> </tr> <tr> <td>検査試薬</td> <td>29.8%</td> </tr> <tr> <td>診療材料</td> <td>50.9%</td> </tr> </table> <p>・購入価格の積算にあたっては、割高な価格で購入しないよう市場価格を把握する必要があることから、新たにベンチマークシステムを導入し、廉価購入のための基礎データの収集、分析を行った。</p>	薬 品	11.7%	検査試薬	29.8%	診療材料	50.9%	<p>医薬品については、概ね市場価格よりも廉価な水準で購入することができた。</p>	△	△	<p>一般的にこれだけの割引率の達成は評価できる。</p>
			薬 品	11.7%								
検査試薬	29.8%											
診療材料	50.9%											
<p>課題</p> <p>共同購入の対象とならない品目について、どのような方法により廉価購入を進めていくのか検討する必要がある。</p>												

小項目56 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (2) 経営改善の取組

中期目標

- ア 収益の確保
 効率的・効果的な医療を提供することによって、より多くの県民に医療を提供すること。
 また、各病院の特性に応じて適正な診療報酬を確保し、医業収益の確保に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																																																																																																			
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																																																																																																																			
<p>・効率的・効果的な病院運営を行い、より多くの県民に県立病院の医療を提供することにより、医業収益の確保の機会を拡大するため、クリティカルパスの適用範囲の拡大、病病・病診連携の強化、病床管理の弾力化等の取組を実施する。</p> <table border="1"> <caption>【病床利用率・平均在院日数・入院実患者数目標値】</caption> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>病床利用率</th> <th>平均在院日数</th> <th>入院実患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>80.0%以上</td> <td>13.5日以下</td> <td>5,900人以上</td> </tr> <tr> <td>子ども医療センター(病院)</td> <td>85.0%以上</td> <td>14.5日以下</td> <td>7,200人以上</td> </tr> <tr> <td>(施設)</td> <td>85.0%以上</td> <td>(93日)</td> <td>300人以上</td> </tr> <tr> <td>芳香病院</td> <td>80.0%以上</td> <td>130.0日以下</td> <td>700人以上</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>80.0%以上</td> <td>80.0日以下</td> <td>320人以上</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>85.0%以上</td> <td>16.0日以下</td> <td>8,050人以上</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター(一般)</td> <td>82.0%以上</td> <td>13.5日以下</td> <td>4,000人以上</td> </tr> <tr> <td>センター(結核)</td> <td>70.0%以上</td> <td>(61日)</td> <td>250人以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>【目標】上表に記載する病床利用率の達成を目指すとともに、最終年度において上表に記載する平均在院日数の短縮及び入院実患者数の増加を目指す。なお、子ども医療センター児童福祉施設及び循環器呼吸器病センター結核病棟については、施設の目的から平均在院日数の短縮に取り組むべき施設ではないため、その目標値は設定しない。</p> <table border="1"> <caption>(参考) 病床利用率・平均在院日数・入院実患者数(平成20年度)</caption> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>病床利用率</th> <th>平均在院日数</th> <th>入院実患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>77.7%</td> <td>13.0日</td> <td>5,743人</td> </tr> <tr> <td>子ども医療センター(病院)</td> <td>85.2%</td> <td>14.5日</td> <td>7,067人</td> </tr> <tr> <td>(施設)</td> <td>89.8%</td> <td>92.1日</td> <td>280人</td> </tr> <tr> <td>芳香病院</td> <td>80.1%</td> <td>143.0日</td> <td>640人</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>70.7%</td> <td>64.1日</td> <td>322人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>81.8%</td> <td>17.5日</td> <td>7,073人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター(一般)</td> <td>84.0%</td> <td>14.5日</td> <td>3,781人</td> </tr> <tr> <td>センター(結核)</td> <td>67.5%</td> <td>61.6日</td> <td>240人</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数	足柄上病院	80.0%以上	13.5日以下	5,900人以上	子ども医療センター(病院)	85.0%以上	14.5日以下	7,200人以上	(施設)	85.0%以上	(93日)	300人以上	芳香病院	80.0%以上	130.0日以下	700人以上	せりがや病院	80.0%以上	80.0日以下	320人以上	がんセンター	85.0%以上	16.0日以下	8,050人以上	循環器呼吸器病センター(一般)	82.0%以上	13.5日以下	4,000人以上	センター(結核)	70.0%以上	(61日)	250人以上	病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数	足柄上病院	77.7%	13.0日	5,743人	子ども医療センター(病院)	85.2%	14.5日	7,067人	(施設)	89.8%	92.1日	280人	芳香病院	80.1%	143.0日	640人	せりがや病院	70.7%	64.1日	322人	がんセンター	81.8%	17.5日	7,073人	循環器呼吸器病センター(一般)	84.0%	14.5日	3,781人	センター(結核)	67.5%	61.6日	240人	<p>・クリティカルパスの適用範囲の拡大、病病・病診連携の強化、病床管理の弾力化等、より多くの県民に県立病院の医療を提供するための取組を実施する。</p> <table border="1"> <caption>【病床利用率・平均在院日数・入院実患者数目標値(平成22年度)】</caption> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>病床利用率</th> <th>平均在院日数</th> <th>入院実患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>80.2%</td> <td>13.1日</td> <td>5,900人</td> </tr> <tr> <td>子ども医療センター(病院)</td> <td>85.1%</td> <td>14.6日</td> <td>7,000人</td> </tr> <tr> <td>(施設)</td> <td>85.0%</td> <td>(93日)</td> <td>300人</td> </tr> <tr> <td>芳香病院</td> <td>83.0%</td> <td>133.3日</td> <td>700人</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>80.0%</td> <td>70.8日</td> <td>320人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>85.4%</td> <td>16.2日</td> <td>8,000人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター(一般)</td> <td>81.4%</td> <td>13.6日</td> <td>3,800人</td> </tr> <tr> <td>センター(結核)</td> <td>74.8%</td> <td>(64日)</td> <td>250人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【目標】上表に記載する病床利用率の達成を目指すとともに、最終年度において上表に記載する平均在院日数の短縮及び入院実患者数の増加を目指す。なお、子ども医療センター児童福祉施設及び循環器呼吸器病センター結核病棟については、施設の目的から平均在院日数の短縮に取り組むべき施設ではないため、その目標値は設定しない。</p> <table border="1"> <caption>(参考) 病床利用率・平均在院日数・入院実患者数(平成20年度)</caption> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>病床利用率</th> <th>平均在院日数</th> <th>入院実患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>77.7%</td> <td>13.0日</td> <td>5,743人</td> </tr> <tr> <td>子ども医療センター(病院)</td> <td>85.2%</td> <td>14.5日</td> <td>7,067人</td> </tr> <tr> <td>(施設)</td> <td>89.8%</td> <td>92.1日</td> <td>280人</td> </tr> <tr> <td>芳香病院</td> <td>80.1%</td> <td>143.0日</td> <td>640人</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>70.7%</td> <td>64.1日</td> <td>322人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>81.8%</td> <td>17.5日</td> <td>7,073人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター(一般)</td> <td>84.0%</td> <td>14.5日</td> <td>3,781人</td> </tr> <tr> <td>センター(結核)</td> <td>67.5%</td> <td>61.6日</td> <td>240人</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数	足柄上病院	80.2%	13.1日	5,900人	子ども医療センター(病院)	85.1%	14.6日	7,000人	(施設)	85.0%	(93日)	300人	芳香病院	83.0%	133.3日	700人	せりがや病院	80.0%	70.8日	320人	がんセンター	85.4%	16.2日	8,000人	循環器呼吸器病センター(一般)	81.4%	13.6日	3,800人	センター(結核)	74.8%	(64日)	250人	病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数	足柄上病院	77.7%	13.0日	5,743人	子ども医療センター(病院)	85.2%	14.5日	7,067人	(施設)	89.8%	92.1日	280人	芳香病院	80.1%	143.0日	640人	せりがや病院	70.7%	64.1日	322人	がんセンター	81.8%	17.5日	7,073人	循環器呼吸器病センター(一般)	84.0%	14.5日	3,781人	センター(結核)	67.5%	61.6日	240人	<p>・平均在院日数は1病院を除いて、また、入院実患者数は2病院1施設で最終年度の目標を達成できた。 ・一方、病床利用率は、目標を達成できたのが子ども医療センターの施設と循環器呼吸器病センターの一般のみであった。</p> <p>【病床利用率・平均在院日数・入院実患者数(平成22年度実績)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>病床利用率</th> <th>平均在院日数</th> <th>入院実患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>76.2%</td> <td>12.3日</td> <td>5,968人</td> </tr> <tr> <td>子ども医療センター施設</td> <td>82.6%</td> <td>14.7日</td> <td>6,757人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>85.2%</td> <td>(69.1日)</td> <td>405人</td> </tr> <tr> <td>芳香病院</td> <td>74.8%</td> <td>122.6日</td> <td>686人</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>65.9%</td> <td>60.1日</td> <td>320人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>76.0%</td> <td>14.9日</td> <td>7,753人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター 一般</td> <td>84.7%</td> <td>13.1日</td> <td>4,211人</td> </tr> <tr> <td>センター 結核</td> <td>64.5%</td> <td>(58.6日)</td> <td>241人</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数	足柄上病院	76.2%	12.3日	5,968人	子ども医療センター施設	82.6%	14.7日	6,757人		85.2%	(69.1日)	405人	芳香病院	74.8%	122.6日	686人	せりがや病院	65.9%	60.1日	320人	がんセンター	76.0%	14.9日	7,753人	循環器呼吸器病センター 一般	84.7%	13.1日	4,211人	センター 結核	64.5%	(58.6日)	241人	<p>実績に対する評価</p> <p>・平均在院日数については、1病院を除き目標を短縮しており、患者の「時間の利益」の向上に貢献できた。 ・一方で、病床利用率については、入院実患者数の増加幅よりも平均在院日数の短縮幅が大きかったことが影響している。</p> <p>課題</p> <p>医師・看護師の配置体制の充実や、より一層の地域医療機関との連携強化を図るなどして、入院実患者数の確保に努めることにより、平均在院日数の短縮と病床利用率の向上という相反する部分のある目標の達成を目指す必要がある。</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>平均在院日数と病床利用率という相反する部分のある目標について、今後望ましい医療のあり方という視点で検討が望まれる。</p>
	病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数																																																																																																																																																																																				
足柄上病院	80.0%以上	13.5日以下	5,900人以上																																																																																																																																																																																					
子ども医療センター(病院)	85.0%以上	14.5日以下	7,200人以上																																																																																																																																																																																					
(施設)	85.0%以上	(93日)	300人以上																																																																																																																																																																																					
芳香病院	80.0%以上	130.0日以下	700人以上																																																																																																																																																																																					
せりがや病院	80.0%以上	80.0日以下	320人以上																																																																																																																																																																																					
がんセンター	85.0%以上	16.0日以下	8,050人以上																																																																																																																																																																																					
循環器呼吸器病センター(一般)	82.0%以上	13.5日以下	4,000人以上																																																																																																																																																																																					
センター(結核)	70.0%以上	(61日)	250人以上																																																																																																																																																																																					
病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数																																																																																																																																																																																					
足柄上病院	77.7%	13.0日	5,743人																																																																																																																																																																																					
子ども医療センター(病院)	85.2%	14.5日	7,067人																																																																																																																																																																																					
(施設)	89.8%	92.1日	280人																																																																																																																																																																																					
芳香病院	80.1%	143.0日	640人																																																																																																																																																																																					
せりがや病院	70.7%	64.1日	322人																																																																																																																																																																																					
がんセンター	81.8%	17.5日	7,073人																																																																																																																																																																																					
循環器呼吸器病センター(一般)	84.0%	14.5日	3,781人																																																																																																																																																																																					
センター(結核)	67.5%	61.6日	240人																																																																																																																																																																																					
病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数																																																																																																																																																																																					
足柄上病院	80.2%	13.1日	5,900人																																																																																																																																																																																					
子ども医療センター(病院)	85.1%	14.6日	7,000人																																																																																																																																																																																					
(施設)	85.0%	(93日)	300人																																																																																																																																																																																					
芳香病院	83.0%	133.3日	700人																																																																																																																																																																																					
せりがや病院	80.0%	70.8日	320人																																																																																																																																																																																					
がんセンター	85.4%	16.2日	8,000人																																																																																																																																																																																					
循環器呼吸器病センター(一般)	81.4%	13.6日	3,800人																																																																																																																																																																																					
センター(結核)	74.8%	(64日)	250人																																																																																																																																																																																					
病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数																																																																																																																																																																																					
足柄上病院	77.7%	13.0日	5,743人																																																																																																																																																																																					
子ども医療センター(病院)	85.2%	14.5日	7,067人																																																																																																																																																																																					
(施設)	89.8%	92.1日	280人																																																																																																																																																																																					
芳香病院	80.1%	143.0日	640人																																																																																																																																																																																					
せりがや病院	70.7%	64.1日	322人																																																																																																																																																																																					
がんセンター	81.8%	17.5日	7,073人																																																																																																																																																																																					
循環器呼吸器病センター(一般)	84.0%	14.5日	3,781人																																																																																																																																																																																					
センター(結核)	67.5%	61.6日	240人																																																																																																																																																																																					
病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数																																																																																																																																																																																					
足柄上病院	76.2%	12.3日	5,968人																																																																																																																																																																																					
子ども医療センター施設	82.6%	14.7日	6,757人																																																																																																																																																																																					
	85.2%	(69.1日)	405人																																																																																																																																																																																					
芳香病院	74.8%	122.6日	686人																																																																																																																																																																																					
せりがや病院	65.9%	60.1日	320人																																																																																																																																																																																					
がんセンター	76.0%	14.9日	7,753人																																																																																																																																																																																					
循環器呼吸器病センター 一般	84.7%	13.1日	4,211人																																																																																																																																																																																					
センター 結核	64.5%	(58.6日)	241人																																																																																																																																																																																					

小項目 5 7 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (2) 経営改善の取組

中期目標

- ア 収益の確保
 効率的・効果的な医療を提供することによって、より多くの県民に医療を提供すること。
 また、各病院の特性に応じて適正な診療報酬を確保し、医業収益の確保に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
・診療報酬の改定に対して迅速に対応するとともに、各病院の特性に応じて、診療報酬上の新たな施設基準を取得する。	・各病院の特性に応じて、診療報酬上の新たな施設基準を取得する。	各病院において体制の整備を図るなどして、新たな施設基準を取得した。 [平成22年度新たに取得した施設基準] 足柄上病院 急性期看護補助体制加算 1 他8項目 こども医療センター 褥瘡ハイリスク患者ケア加算 他8項目 芹香病院 精神科救急入院料 1 他3項目 せりがや病院 重度アルコール依存症入院医療管理加算 他2項目 がんセンター 急性期看護補助体制加算 1 他9項目 循環器呼吸器病センター 呼吸器リハビリテーション料 I 他12項目	実績に対する評価 診療報酬算定のための施設基準について適宜検証し、新規の算定項目や既算定項目の対象拡大に努めた結果、新たな施設基準を取得したことより、収益を確保することができた。	△	△	
			課題 施設基準の効果的な取得のため、業務執行体制の見直しを引き続き行うとともに、診療報酬改定についての中央社会保険医療協議会などの動向も注視しながら、迅速に対応できる体制作りを図ることが必要である。			

小項目 58 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (2) 経営改善の取組

中期目標	<p>ア 収益の確保</p> <p>効率的・効果的な医療を提供することによって、より多くの県民に医療を提供すること。 また、各病院の特性に応じて適正な診療報酬を確保し、医業収益の確保に努めること。</p>
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>・適正な診療報酬を確保するため、患者の状況に応じたきめ細かな相談や督促・催告の実施等による未収金の発生防止、早期の回収、診療報酬請求漏れの防止に取り組む。</p>	<p>・患者の状況に応じたきめ細かな相談や督促・催告の実施等による未収金の発生防止、早期の回収、診療報酬請求漏れの防止等、適正な診療報酬を確保するための総合的な取組を実施する。</p>	<p>・銀行納付やコンビニ納付等、患者が支払いやすい支払方法を案内し、未収金発生を未然に防止した。 また、毎月発生する未収金について、コンビニ納付書を利用した早期の請求・回収を行った。</p> <p>・未収金の早期回収に向けて、督促方針や督促方法を幹部職員への報告を定期化し、債権発生から督促までの期間を短縮する等回収事務を見直した。</p> <p>・過去の未収金については、電話及び郵送による督促を行うとともに、支払期限から概ね1年を経過した滞納者については債権回収会社への委託を実施した。</p> <p>・診療報酬の請求漏れを防止するため、担当医師と緊密な連携を図るとともに、査定検討会による再請求検討や医事事務等委託業者からの情報収集を行い、適正な請求に努めた。 また、DPCと出来高請求に高額差額が生じる症例についてレセプト提出前の精査の徹底を図った。</p> <p>・芹香病院では、オーダーリングの導入にともない、診療報酬の請求漏れ等を減少することができた。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>他部門との連携を行うなど未収金の発生防止や早期回収に努めた結果、医業収益は増収となったが、現年度医業未収金発生額は前年度と比較して減少させることができた。 また、診療報酬の適正な確保に向けて、事務執行の見直しを行い、管理体制を強化するとともに、査定減対策を着実に進めることができた。</p>	△	△	<p>多様な支払方法による未収金防止の取組については評価できる。 未収金の回収率及び残高について具体的な数値目標の検討が望まれる。</p>
			<p>課題</p> <p>未収金の回収については、引き続き粘り強く督促していく必要がある。 診療報酬の確保に向けて、査定検討対策を強化することにより、今後も査定減の縮減に努める必要がある。</p>			

小項目 59 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (2) 経営改善の取組

中期
目標

- イ 費用の削減
 材料費や経費の節減に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																			
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																																																		
<p>・医薬品に係る経費の節減とともに、患者の経済的負担の軽減にも資するため、後発医薬品の使用拡大を図る。</p> <p>[後発医薬品の品目採用率及び金額採用率の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度実績</th> <th>平成26年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品の品目採用率</td> <td>11.3%</td> <td>15.0%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品の金額採用率</td> <td>3.1%</td> <td>5.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度実績	平成26年度目標値	後発医薬品の品目採用率	11.3%	15.0%	後発医薬品の金額採用率	3.1%	5.0%	<p>・後発医薬品情報の収集に医薬品管理システムを活用するとともに、後発医薬品の利用状況把握と有効な代替方策を検討して、後発医薬品の使用拡大を図る。</p> <p>[後発医薬品の品目採用率及び金額採用率の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度実績</th> <th>平成26年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品の品目採用率</td> <td>11.3%</td> <td>15.0%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品の金額採用率</td> <td>3.1%</td> <td>5.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度実績	平成26年度目標値	後発医薬品の品目採用率	11.3%	15.0%	後発医薬品の金額採用率	3.1%	5.0%	<p>後発医薬品については、県立病院機構では他の病院では実施が困難な高度専門的な医療を実施していることから後発医薬品の使用が限られる中、安全性に十分配慮しつつ、各病院の薬事会議等において後発医薬品の使用拡大を検討し、可能なものについてはその導入を図った。</p> <p>[後発医薬品の品目採用率及び金額採用率の実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品の品目採用率</td> <td>11.7%</td> <td>12.2%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品の金額採用率</td> <td>4.1%</td> <td>5.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>[病院別の後発医薬品の採用率の内訳]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>品目数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>11.8%</td> <td>8.3%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>6.5%</td> <td>3.0%</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>13.2%</td> <td>12.5%</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>14.0%</td> <td>11.4%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>9.3%</td> <td>5.7%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>10.8%</td> <td>5.4%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12.2%</td> <td>5.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成21年度	平成22年度	後発医薬品の品目採用率	11.7%	12.2%	後発医薬品の金額採用率	4.1%	5.6%	病院名	品目数	金額	足柄上病院	11.8%	8.3%	こども医療センター	6.5%	3.0%	芹香病院	13.2%	12.5%	せりがや病院	14.0%	11.4%	がんセンター	9.3%	5.7%	循環器呼吸器病センター	10.8%	5.4%	合計	12.2%	5.6%	<p>後発医薬品の品目採用率・金額採用率ともに前年度実績を上回ることができた。特に金額採用率は、中期計画で掲げた目標の5%を達成した。</p> <p>△</p> <p>△</p>		
区分	平成20年度実績	平成26年度目標値																																																						
後発医薬品の品目採用率	11.3%	15.0%																																																						
後発医薬品の金額採用率	3.1%	5.0%																																																						
区分	平成20年度実績	平成26年度目標値																																																						
後発医薬品の品目採用率	11.3%	15.0%																																																						
後発医薬品の金額採用率	3.1%	5.0%																																																						
区分	平成21年度	平成22年度																																																						
後発医薬品の品目採用率	11.7%	12.2%																																																						
後発医薬品の金額採用率	4.1%	5.6%																																																						
病院名	品目数	金額																																																						
足柄上病院	11.8%	8.3%																																																						
こども医療センター	6.5%	3.0%																																																						
芹香病院	13.2%	12.5%																																																						
せりがや病院	14.0%	11.4%																																																						
がんセンター	9.3%	5.7%																																																						
循環器呼吸器病センター	10.8%	5.4%																																																						
合計	12.2%	5.6%																																																						
			<p>課題</p> <p>後発医薬品の品目採用率の向上を推進していくため、各病院の薬事検討会議で、より一層、後発医薬品の採用を検討していく必要がある。</p>																																																					

小項目 60 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (2) 経営改善の取組

中期目標

- イ 費用の削減
 材料費や経費の節減に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価		
			自己点数	評価点数	コメント		
・定型的な事務や院内保育業務等の業務の委託化を拡大し、経費の節減を図る。	・院内保育業務等について、業務の委託化を進める。	より一層の経費の削減を図るとともに、民間活力を導入し、効率的効果的な院内保育を実施するため、既に委託化を実施していた循環器呼吸器病センターの保育園に加え、新たに足柄上病院、精神医療センターの院内保育園を完全委託化するとともに、がんセンターにおいても、延長・夜間保育について委託化を実施した。	実績に対する評価		Δ	Δ	保育業務の委託化の実施は評価できるが、今後どのような目標をたてるか検討が望まれる。
			民間活力の導入により、保育時間の延長及び週2日程度の24時間保育を実施できる体制を施設整備を含めて構築した。				
			課題 今後とも、業務等の特性を踏まえ、職員の研修等について委託化を検討する必要がある。				

小項目 6 2 業務実績及び評価

<評価の大項目>

第7 その他業務運営に関する重要事項
人事に関する事項

中期目標	(1) 適切な職員配置 経営効率の高い業務執行体制を構築するため、定型的な業務について委託を進めること等により、適切な職員配置に努めること。 また、医療ニーズの変化に適切に対応した看護師等、医療従事者の迅速・柔軟な採用・配置を行い、新たな政策課題に対しては、必要な医療従事者を適切に配置すること。
	(2) 的確な人事管理 職員の実績等を的確に反映した人事管理を行うため、より病院にふさわしい人事評価の仕組みを確立すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価		
			自己点数	評価点数	コメント		
<p>(1) 適切な職員配置 ・事務部門については、専門性を高めるとともに、経営企画機能の強化を図る。また、定型的な業務については委託化を進める。</p> <p>・医療従事者については、医療ニーズの変化及び患者動向に適切に対応し、効果的な人員配置を行うため、医師等スタッフの配置の弾力化、多様な雇用形態の活用等を行う。</p> <p>・安全で安心な医療を支える手厚い看護を実施するため、がんセンター及び循環器呼吸器病センターにおいて、7対1看護基準を取得する。</p> <p>・がんセンター総合整備をはじめとした新たな政策課題を実現するため、必要な医療従事者を適切に配置する。</p> <p>(2) 的確な人事管理 医師や看護師等医療従事者の職務の実態を踏まえた人事評価システムについて、検討する。</p>	<p>(1) 適切な職員配置 ・事務職員については、その専門性を高めるとともに、法人、病院の経営企画機能の強化を目指した職員配置を図る。</p> <p>・医療従事者については、医師等スタッフの配置の弾力化、多様な雇用形態の活用等により、医療ニーズの変化及び患者動向に適切に対応した効果的な人員配置を行う。</p> <p>(2) 的確な人事管理 医師や看護師等医療従事者の職務の実態を踏まえた人事評価システムについての検討を進める。</p>	<p>・事務職員の採用については、本部事務局では職員課1人、財務課1人の計2人を配置した。 各病院の診療報酬等の医業収益確保を図るため医事課に6人、企画部門の機能強化を図るため経営企画課に4人、総務課に5人の新規採用職員を配置した。</p> <p>・がんセンターの重粒子線治療装置の導入に向けた体制の充実や医療観察法病棟の開設（精神医療センター）など医療ニーズや医療環境の変化等に的確に対応するとともに、円滑な病院運営を行うために、正規職員を394人（医師153人（後期臨床研修医含む）、看護師173人、コメディカル職種51人、事務17人）を採用した。</p> <p>・医師や看護師等医療従事者に相応しい人事評価制度の検討を進め、業務の実態を適切に反映し、かつ評価できるよう評価者の位置づけを明確にした。</p>	実績に対する評価	△	△		
			課題				
							患者動向や医療環境の変化等に柔軟かつ効果的に対応できるよう、業務の実態を踏まえ、経験者区分での採用方法など採用行為を柔軟にするなどにより適正な職員配置に努めた。

小項目 6 1 業務実績及び評価

<評価の大項目>

第3 財務内容の改善に関する事項

中期目標

県立病院の医療機能を充実し、県民負担の軽減に努めながら、新たな課題に対応できる経営基盤を確保するため、健全な病院経営を行い、県立病院機構全体の財務内容の改善を図ること。
 経営目標
 業務運営の改善及び効率化を進め、より一層の経営改善に取り組むことにより、中期目標期間を累計した損益計算において、経常収支比率を100%以上とすること。
 また、医業収支比率を133%以下とするよう努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>「第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進め、収支計画において、中期目標期間を累計した経常収支比率を100%以上、医業収益に対する給与費の比率を70%以下とする。また、医業収支比率を133%以下とする。</p> <p>1 予算（22年度～26年度）省略 2 収支計画（22年度～26年度）省略</p>	<p>「第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進め、収支計画において、医業収支比率を133%以下とする。</p> <p>1 予算（22年度） 2 収支計画（22年度） (1) 県立病院機構全体 経常収支比率 100.2% 医業収益に対する給与費の比率 70.5% 医業収支比率 131.5%</p> <p>(2) 足柄上病院 経常収支比率 94.0% 医業収益に対する給与費の比率 78.8% 医業収支比率 138.0%</p> <p>(3) こども医療センター 経常収支比率 105.3% 医業収益に対する給与費の比率 71.4% 医業収支比率 129.1%</p> <p>(4) 芹香病院 経常収支比率 95.8% 医業収益に対する給与費の比率 120.8% 医業収支比率 168.9%</p>	<p>・財務諸表及び決算報告書を参照</p> <p>・県立病院機構全体の医業収支比率は126.1%となった。 なお、経常収支比率は103.2%、医業収益に対する給与費の比率は67.9%となった。</p> <p>[決算状況] (1) 県立病院機構全体 経常収支比率 103.2% 医業収益に対する給与費の比率 67.9% 医業収支比率 126.1% 総利益 1,369百万円</p> <p>(2) 足柄上病院 経常収支比率 99.2% 医業収益に対する給与費の比率 78.0% 医業収支比率 135.5% 総利益 △59百万円</p> <p>(3) こども医療センター 経常収支比率 107.5% 医業収益に対する給与費の比率 70.7% 医業収支比率 126.0% 総利益 1,059百万円</p> <p>(4) 芹香病院 経常収支比率 98.7% 医業収益に対する給与費の比率 116.6% 医業収支比率 167.7% 総利益 △82百万円</p>	<p>積極的な施設基準の取得等による収益増、効率的な業務運営による経費節減に努めた結果、県立病院機構全体の医業収支比率は126.1%となり、目標である133%以下を達成した。 また、経常収支比率や医業収益に対する給与比率についても、目標を達成している。</p>	<p>△</p>	<p>△</p>	

3 資金計画 (22年度～26年度) 省略	<p>(5) せりがや病院 経常収支比率 94.3% 医業収益に対する給与費の比率 138.6% 医業収支比率 188.9%</p> <p>(6) がんセンター 経常収支比率 99.6% 医業収益に対する給与費の比率 56.1% 医業収支比率 121.7%</p> <p>(7) 循環器呼吸器病センター 経常収支比率 99.7% 医業収益に対する給与費の比率 60.6% 医業収支比率 128.2%</p> <p>3 資金計画 省略</p>	<p>(5)せりがや病院 経常収支比率 100.2% 医業収益に対する給与費の比率 129.4% 医業収支比率 182.8% 総利益 1百万円</p> <p>(6)がんセンター 経常収支比率 104.0% 医業収益に対する給与費の比率 53.6% 医業収支比率 114.3% 総利益 490百万円</p> <p>(7)循環器呼吸器病センター 経常収支比率 104.0% 医業収益に対する給与費の比率 51.7% 医業収支比率 120.1% 総利益 239百万円</p>	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>今後も引き続き収入増、経費節減に努め、一層の効率的な業務運営を図る必要がある。</p>			
-----------------------	---	--	---	--	--	--